

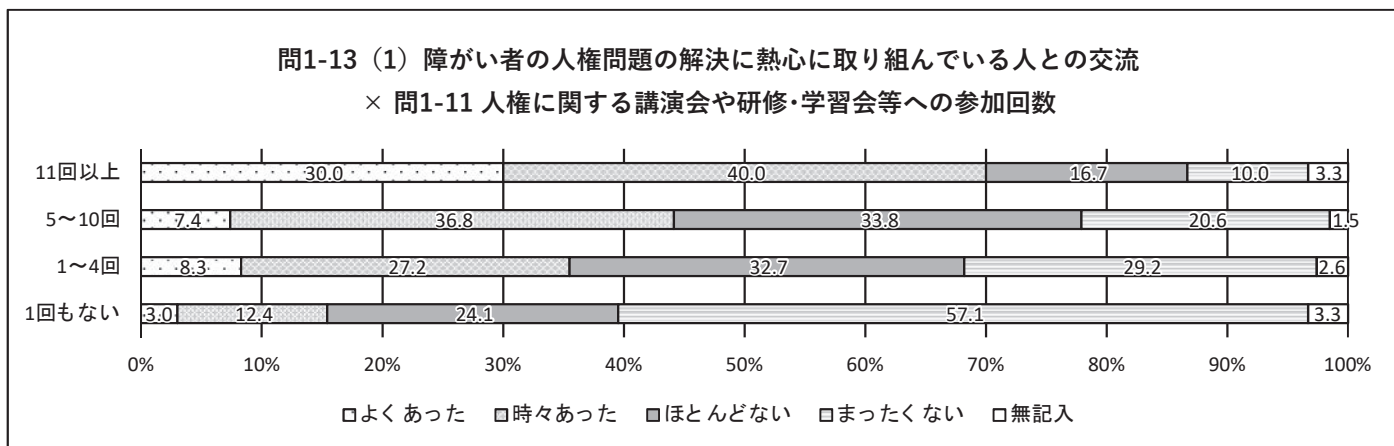
問 1-13 これまでの生活の中で、次の(1)～(5)の方と一緒に生活したり、働いたり、活動したりするなど、何らかの交流がありましたか

(1)障がい者の人権問題の解決に熱心に取り組んでいる人

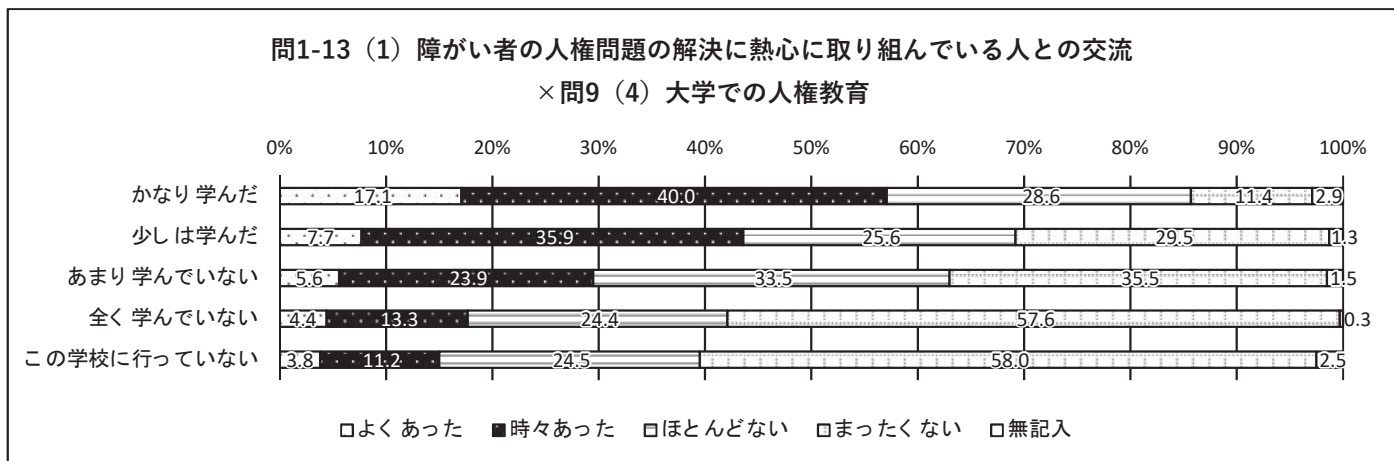
| No. | カテゴリ | 件数 | (全体)% | (除不)% |
|-----|----------|-------|-------|-------|
| 1 | よくあった | 73 | 4.7 | 4.9 |
| 2 | 時々あった | 259 | 16.8 | 17.5 |
| 3 | ほとんどない | 404 | 26.3 | 27.3 |
| 4 | まったくない | 743 | 48.3 | 50.2 |
| | 無記入 | 60 | 3.9 | |
| | N (%ベース) | 1,539 | 100 | 1,479 |

「あなたは、これまでの生活の中で、次の(1)～(5)の方と一緒に生活したり、働いたり、活動したりするなど、何らかの交流がありましたか。」の(1)「障がい者の人権問題の解決に熱心に取り組んでいる人」について、「よくあった」73人 4.7%(4.9%)、「時々あった」259人 16.8%(17.5%)、「ほとんどない」404人 26.3%(27.3%)、「まったくない」743人 48.3%(50.2%)、「無記入」60人 3.9%、となっています。「よくあった」「時々あった」合わせて 21.5%となっています。()内は無記入を除く%です。

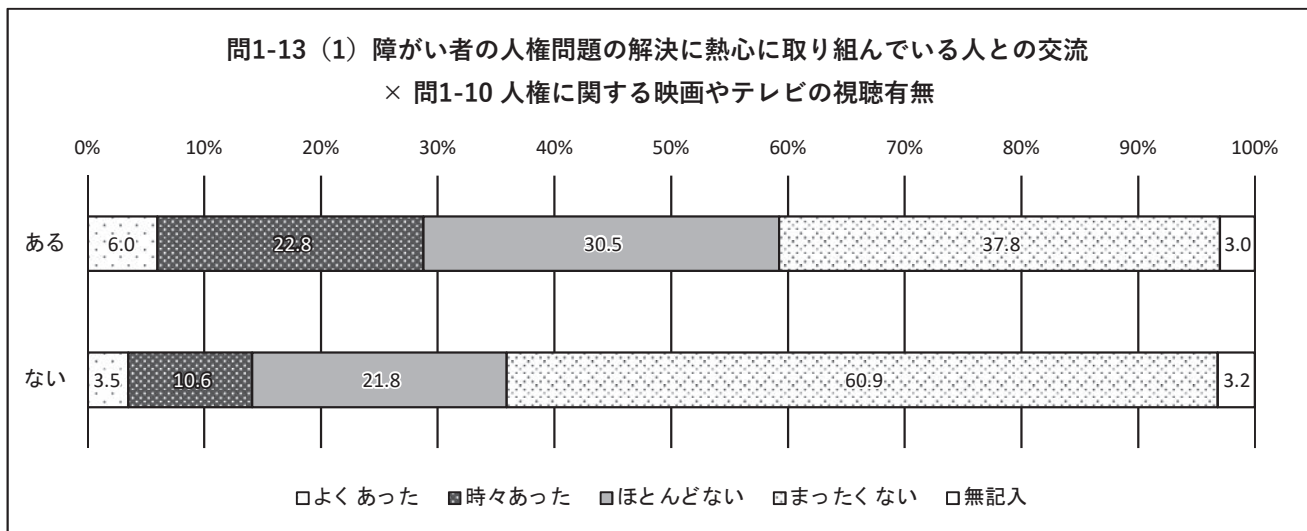
人権に関する講演会や研修・学習会等への参加との関連性が高く、次いで、大学(短大・高専)等での人権教育、人権に関する映画・ビデオ・テレビ・ラジオの視聴、高校での人権教育などとなっています。



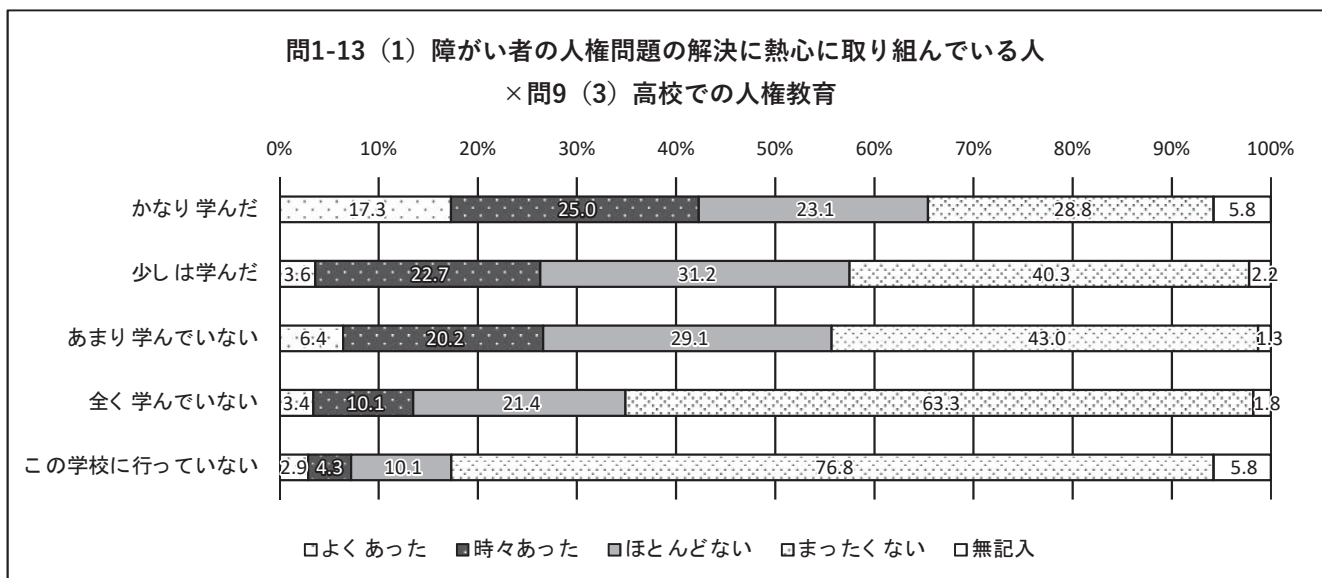
障がい者の人権問題に取り組んでいる人との交流が「よくあった」人は、この5年間で人権に関する講演会・研修会等に11回以上参加した人では30.0%、1回もない人では3.0%となっています。交流が「まったくない」は11回以上参加で10.0%、「1回もない」では57.1%とはっきりと差が出ています。



大学(短大・高専)等での人権教育でかなり学んだ人では、交流が「よくあった」は17.1%、「ときどきあった」は40.0%、「まったくない」は11.4%となっています。全く学んでいない人では、交流が「よくあった」4.4%、「ときどきあった」は13.3%、「まったくない」は57.6%となっています。



障がい者の人権問題に熱心に取り組んでいる人との交流について、人権に関する映画やビデオ、テレビ番組等を見たことがある人では、「よくあった」6.0%、「時々あった」22.8%、交流が「まったくない」は37.8%、ない人では「よくあった」3.5%、「時々あった」10.6%、「まったくない」は60.9%と大きな差があります。



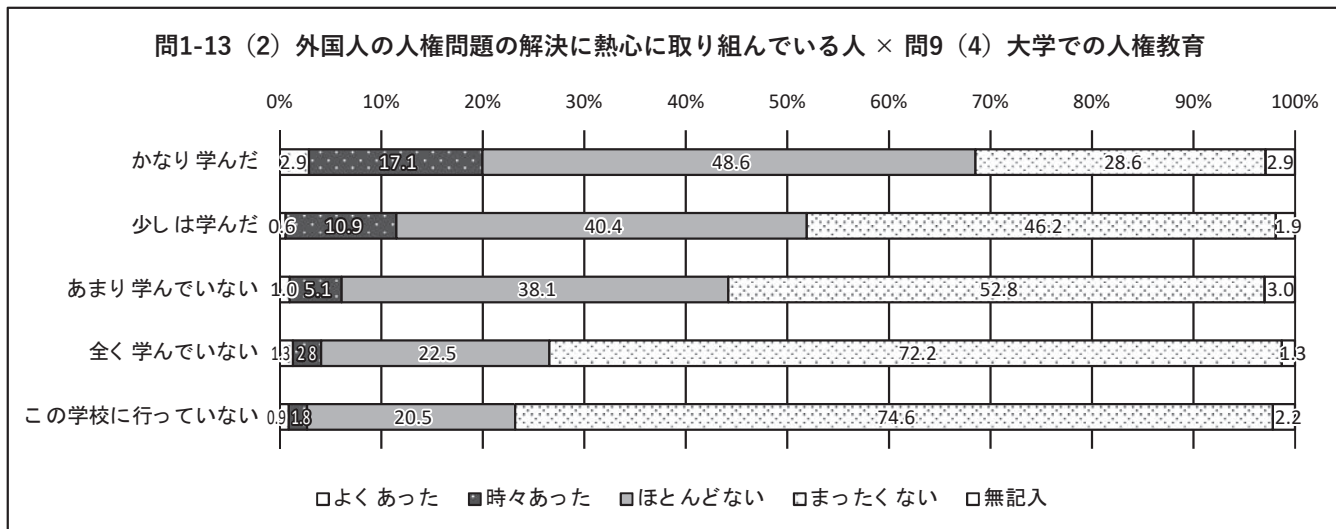
高校等でかなり学んだ人では、交流が「よくあった」は17.3%、「まったくない」は28.8%となっています。全く学んでいない人では、交流が「よくあった」は3.4%、「まったくない」は63.3%となっています。

(2) 外国人の人権問題の解決に熱心に取り組んでいる人

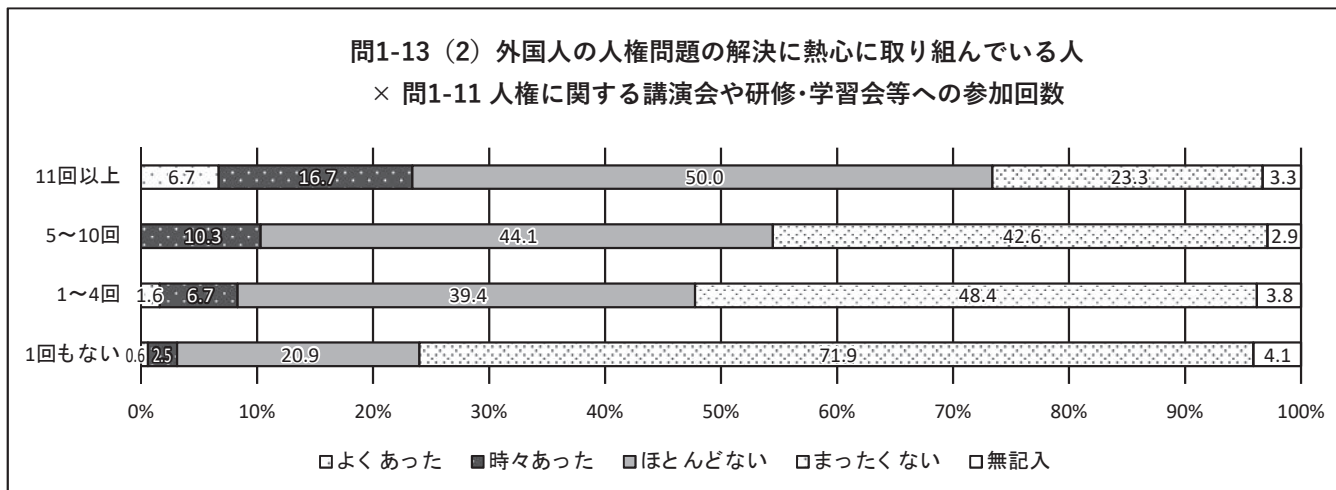
| No. | カテゴリ | 件数 | (全体)% | (除不)% |
|-----|----------|-------|-------|-------|
| 1 | よくあった | 14 | 0.9 | 1.0 |
| 2 | 時々あった | 61 | 4.0 | 4.2 |
| 3 | ほとんどない | 404 | 26.3 | 27.6 |
| 4 | まったくない | 987 | 64.1 | 67.3 |
| | 無記入 | 73 | 4.7 | |
| | N (%ベース) | 1,539 | 100 | 1,466 |

「あなたは、これまでの生活の中で、次の(1)～(5)の方と一緒に生活したり、働いたり、活動したりするなど、何らかの交流がありましたか。」の(2)「外国人の人権問題の解決に熱心に取り組んでいる人」について、「よくあった」14人0.9%(1.0%)、「時々あった」61人4.0%(4.2%)、「ほとんどない」404人26.3%(27.6%)、「まったくない」987人64.1%(67.3%)、「無記入」73人4.7%、となっています。「よくあった」「時々あった」合わせて4.9%となっています。()内は無記入を除く%です。

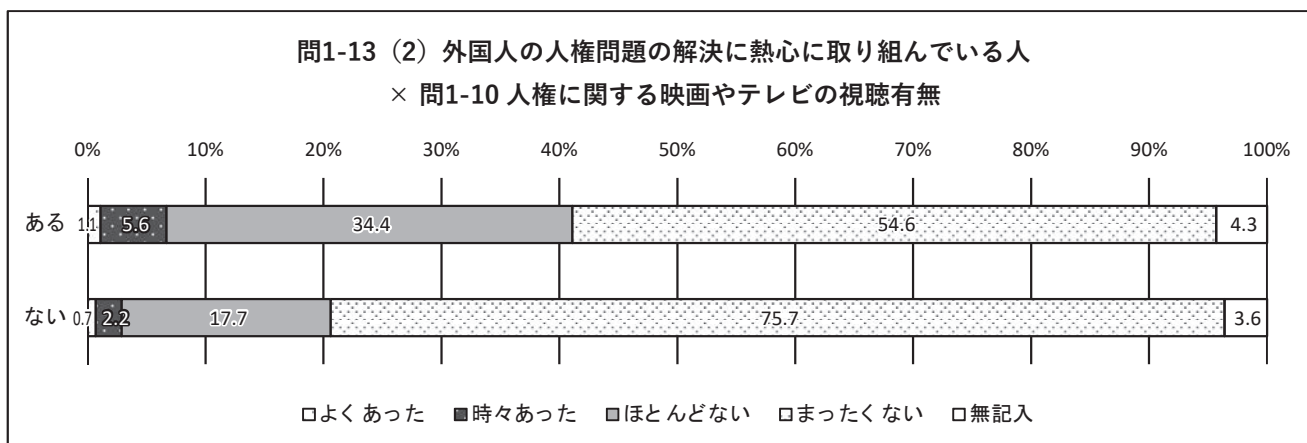
関連性の大きなものは、大学(短大・高専)での人権教育、人権に関する講演会や研修・学習会等の参加、人権に関する映画・ビデオ・テレビ等の視聴、高校での人権教育となっています。



外国人の人権問題の解決に熱心に取り組んでいる人との交流について、大学(短大・高専)での人権教育をかなり学んだ人では、交流が「よくあった」2.9%、「時々あった」17.1%、「まったくない」28.6%に対して、全く学んでいない人では「よくあった」1.3%、「時々あった」2.8%、「まったくない」72.2%となっています。



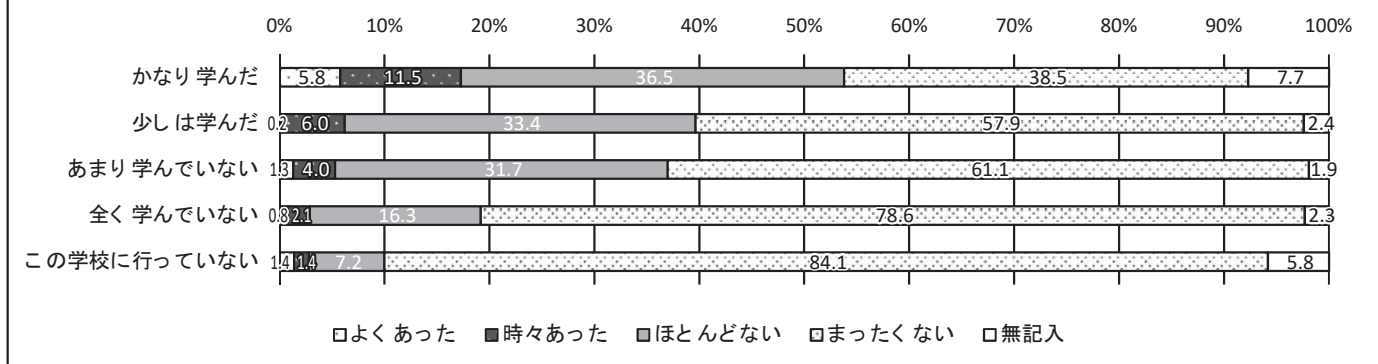
外国人の人権問題の解決に熱心に取り組んでいる人との交流について、人権に関する講演会や研修・学習会等に11回以上参加した人では、交流が「よくあった」6.7%、「時々あった」16.7%、「まったくない」23.3%に対して、参加が1回もない人では、「まったくない」71.9%となっています。



人権に関する映画やビデオ、テレビ番組等を見たことがある人では、外国人の人権問題の解決に熱心に取り組んでいる人との交流が「時々あった」5.6%、「まったくない」54.6%に対して、ない人では「時々あった」2.2%、「まったくない」75.7%となっています。

問1-13 (2) 外国人の人権問題の解決に熱心に取り組んでいる人

× 問9 (3) 高校での人権教育



高校等での人権教育をかなり学んだ人では、外国人の人権問題の解決に熱心に取り組んでいる人との交流が「時々あった」11.5%、「まったくない」38.5%に対して、全く学んでいない人では「時々あった」2.1%、「まったくない」78.6%となっています。

(3) 部落差別問題(同和問題)の解決に熱心に取り組んでいる人

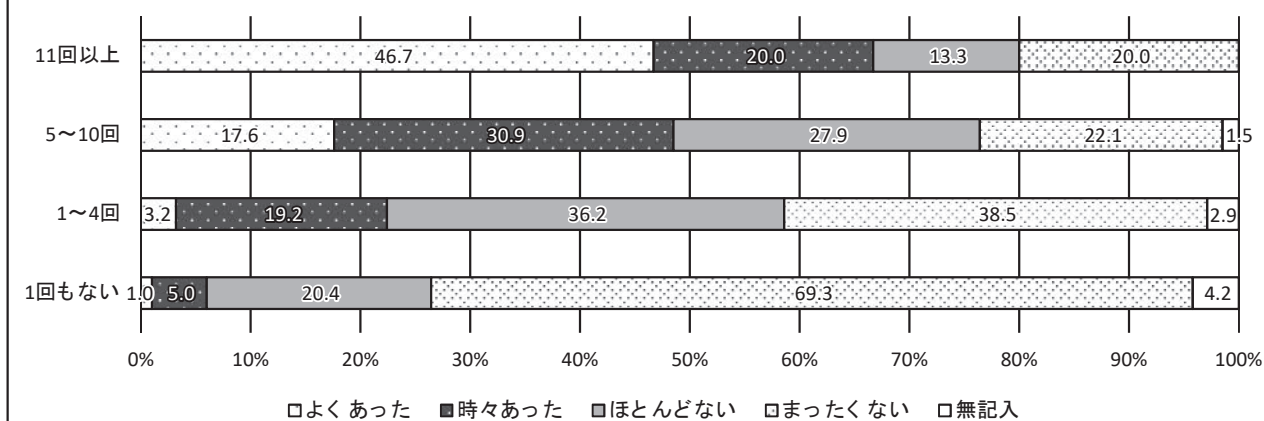
| No. | カテゴリ | 件数 | (全体)% | (除不)% |
|-----|----------|-------|-------|-------|
| 1 | よくあった | 47 | 3.1 | 3.2 |
| 2 | 時々あった | 143 | 9.3 | 9.7 |
| 3 | ほとんどない | 366 | 23.8 | 24.9 |
| 4 | まったくない | 913 | 59.3 | 62.2 |
| | 無記入 | 70 | 4.5 | |
| | N (%ベース) | 1,539 | 100 | 1,469 |

「あなたは、これまでの生活の中で、次の(1)～(5)の方と一緒に生活したり、働いたり、活動したりするなど、何らかの交流がありましたか。」の(3)「部落差別問題(同和問題)の解決に熱心に取り組んでいる人」について、「よくあった」47人 3.1%(3.2%)、「時々あった」143人 9.3%(9.7%)、「ほとんどない」366人 23.8%(24.9%)、「まったくない」913人 59.3%(62.2%)、「無記入」70人 4.5%、となっています。()内は無記入を除く%です。「よくあった」「時々あった」合わせて12.4%となっています。

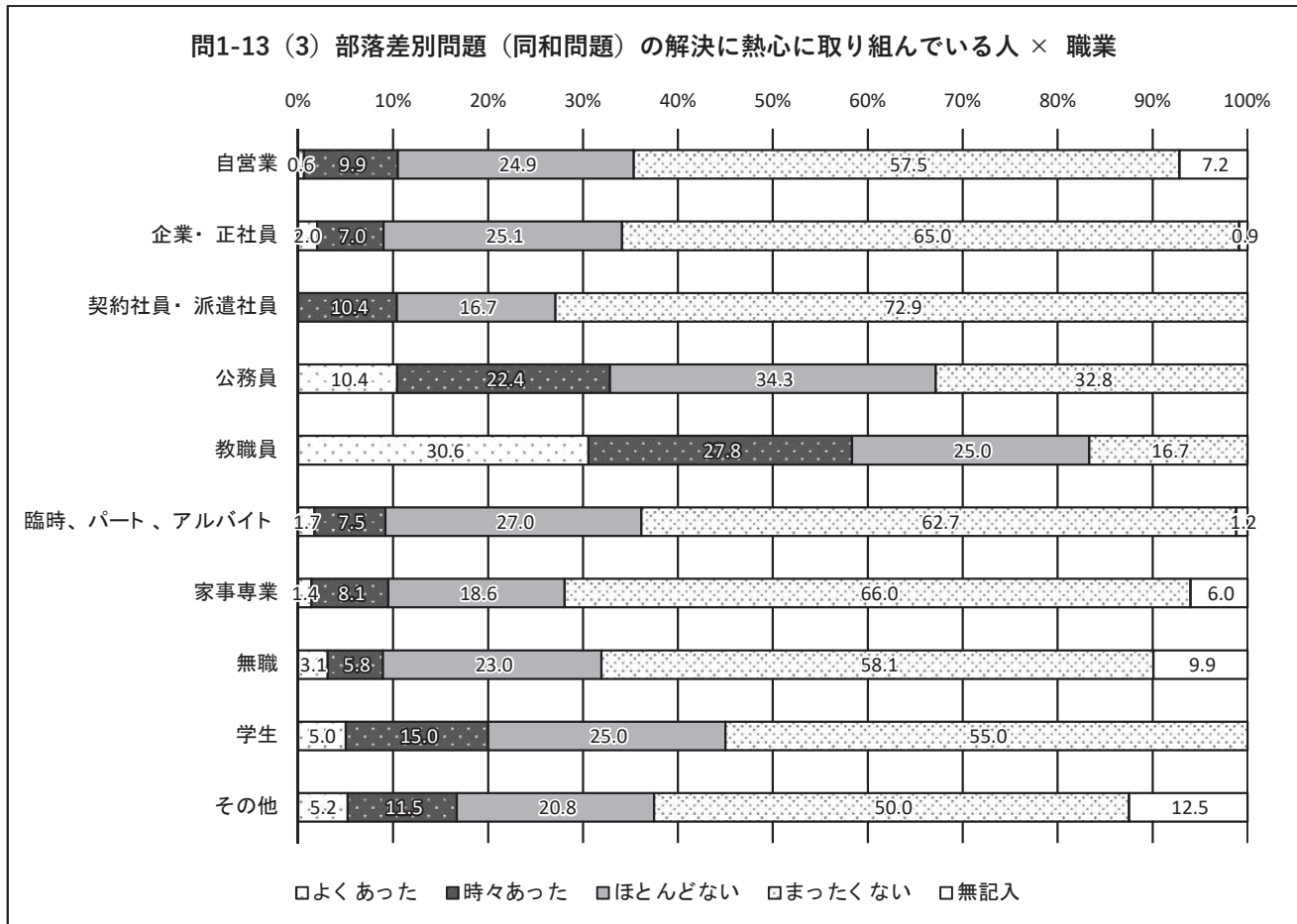
多重相関は0.561と大変高くなっています。人権に関する研修会・学習会への参加との関連性が大変高くなっています。次に職業、大学(短大・高専)等での人権教育となっています。

問1-13 (3) 部落差別問題(同和問題)の解決に熱心に取り組んでいる人

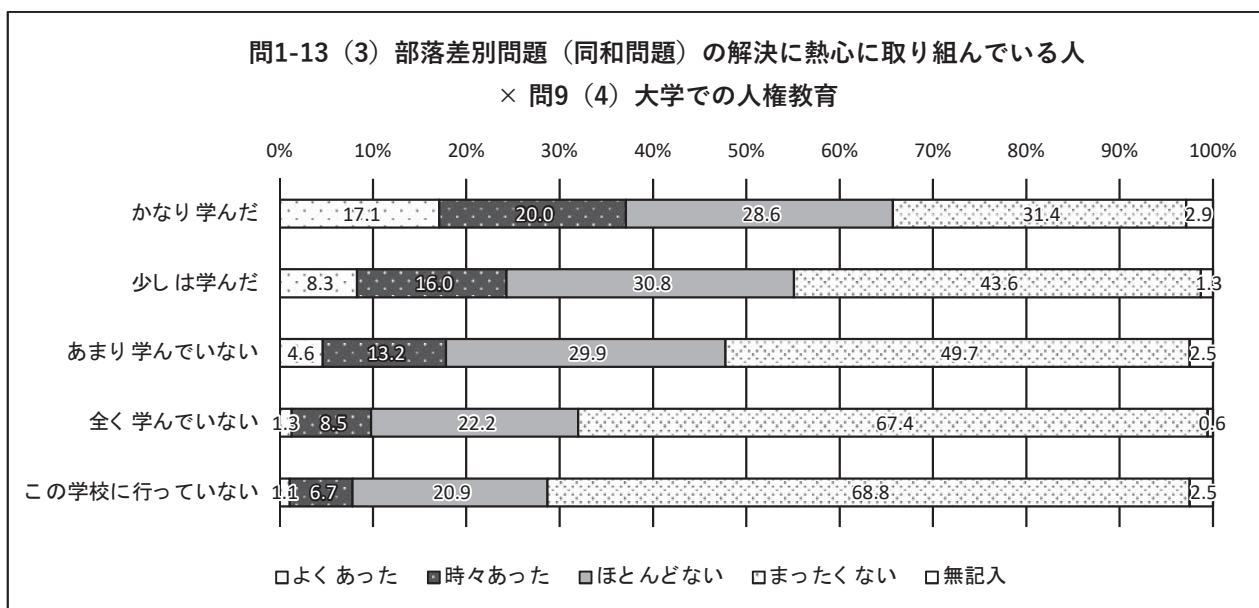
× 問1-11 人権に関する講演会や研修・学習会等への参加回数



人権に関する研修会・学習会へ11回以上参加した人では、部落差別問題(同和問題)の解決に熱心に取り組んでいる人との交流が、「よくあった」46.7%、「まったくない」は20.0%となっています。研修会・学習会へ1回も参加したことがない人では交流が「よくあった」1.0%、「まったくない」は69.3%となっています。



教職員では部落差別問題(同和問題)の解決に熱心に取り組んでいる人との交流が、「よくあった」は30.6%、「まったくない」は16.7%となっています。公務員では交流が「よくあった」は10.4%、「まったくない」は32.8%となっています。



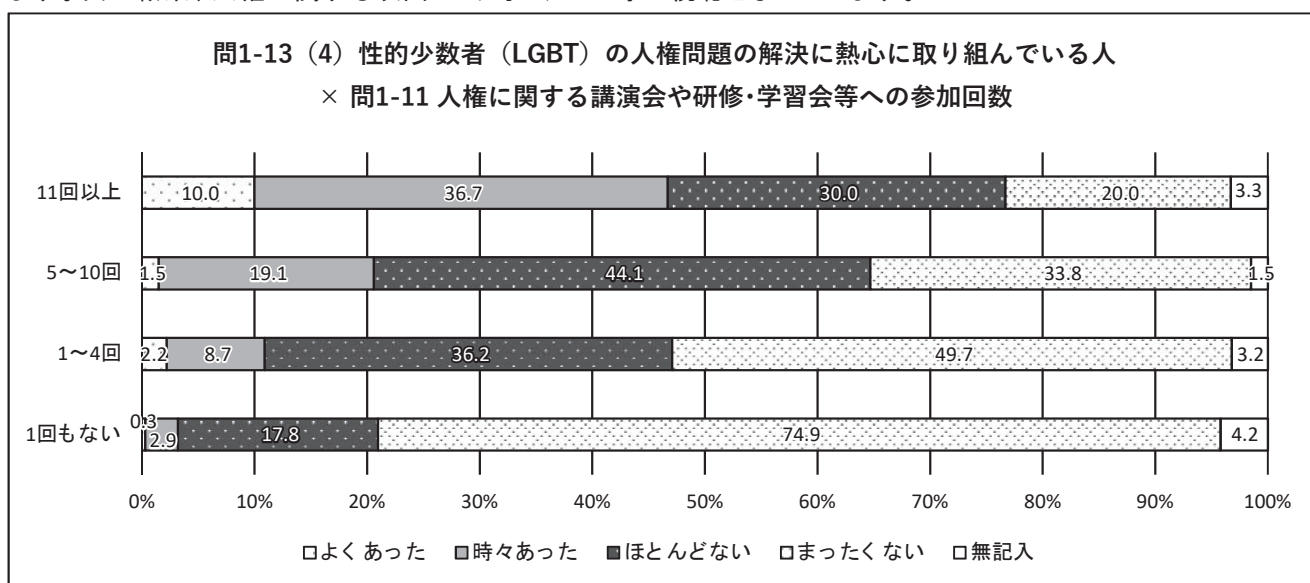
大学(短大・高専)等での人権教育をかなり学んだ人で、部落差別問題(同和問題)の解決に熱心に取り組んでいる人との交流が「よくあった」は17.1%、「まったくない」は31.4%となっています。全く学んでいない人では、交流が「よくあった」は1.3%、「まったくない」は67.4%となっています。

(4) 性的少数者(LGBT)の人権問題の解決に熱心に取り組んでいる人

| No. | カテゴリ | 件数 | (全体)% | (除不)% |
|-----|----------|-------|-------|-------|
| 1 | よくあった | 14 | 0.9 | 1.0 |
| 2 | 時々あった | 83 | 5.4 | 5.7 |
| 3 | ほとんどない | 354 | 23.0 | 24.1 |
| 4 | まったくない | 1,017 | 66.1 | 69.3 |
| | 無記入 | 71 | 4.6 | |
| | N (%ベース) | 1,539 | 100 | 1,468 |

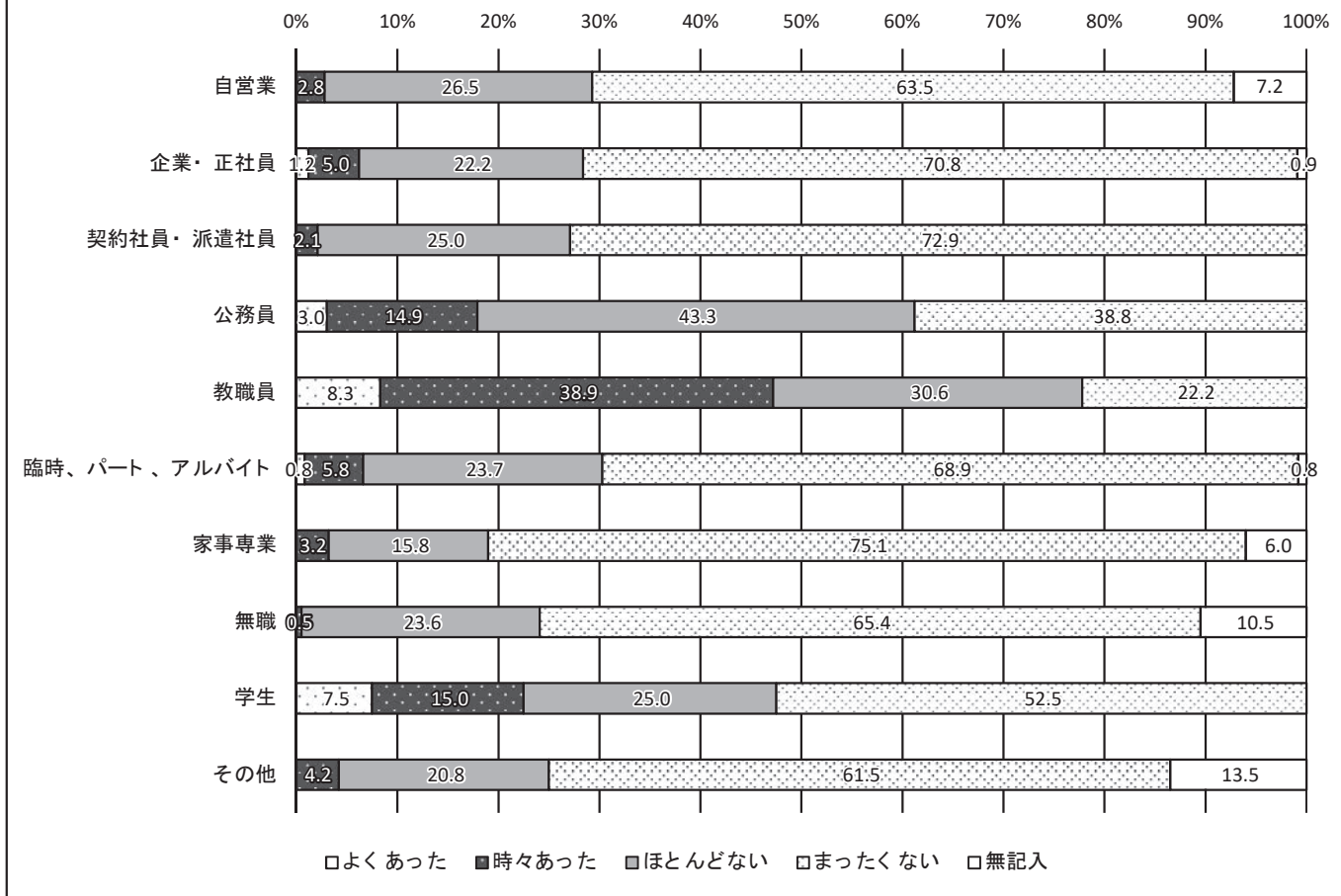
「あなたは、これまでの生活の中で、次の(1)～(5)の方と一緒に生活したり、働いたり、活動したりするなど、何らかの交流がありましたか。」の(4)「性的少数者(LGBT)の人権問題の解決に熱心に取り組んでいる人」について、「よくあった」14人 0.9%(1.0%)、「時々あった」83人 5.4%(5.7%)、「ほとんどない」354人 23.0%(24.1%)、「まったくない」1,017人 66.1%(69.3%)、「無記入」71人 4.6%となっています。()内は無記入を除く%です。「よくあった」「時々あった」合わせて6.3%となっています。

多重相関は0.484と大変高くなっています。人権に関する研修会・学習会への参加との関連性が大変高くなっています。次に職業、人権に関する映画・ビデオ・テレビ等の視聴となっています。



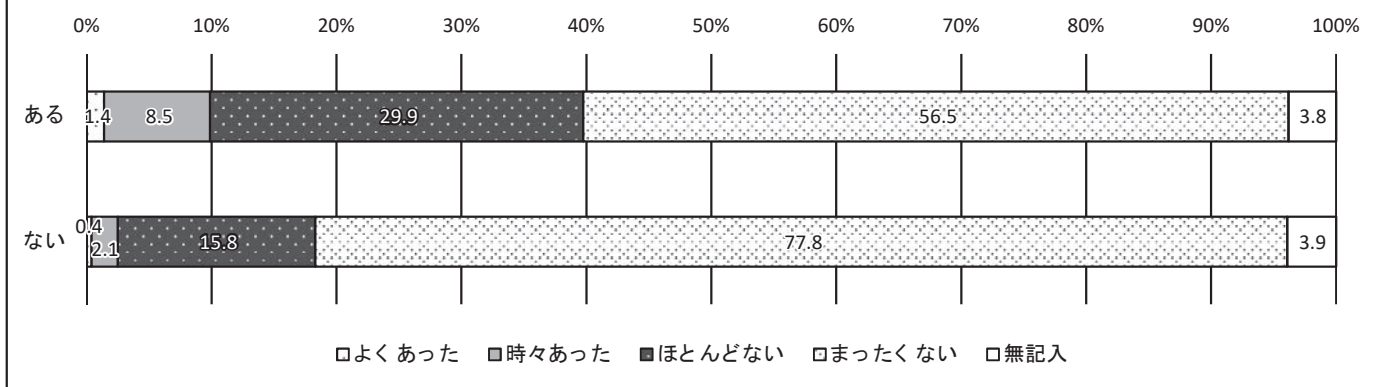
人権に関する講演会や研修・学習会等に11回以上参加した人では、性的少数者(LGBT)の人権問題の解決に熱心に取り組んでいる人との交流が「よくあった」は10.0%、「まったくない」は20.0%となっています。講演会等への参加が1回もない人では交流が「よくあった」は0.3%、「まったくない」は74.9%となっています。

問1-13 (4) 性的少数者 (LGBT) の人権問題の解決に熱心に取り組んでいる人 × 職業



教職員では性的少数者(LGBT)の人権問題の解決に熱心に取り組んでいる人との交流が、「よくあった」は8.3%と高く、「まったくない」は22.2%と低くなっています。公務員では交流が「よくあった」は3.0%と高く、「まったくない」は38.8%と低くなっています。学生では「よくあった」は7.5%と高く、「まったくない」は52.5%と低くなっています。

問1-13 (4) 性的少数者 (LGBT) の人権問題の解決に熱心に取り組んでいる人
× 問1-10 人権に関する映画やテレビの視聴有無



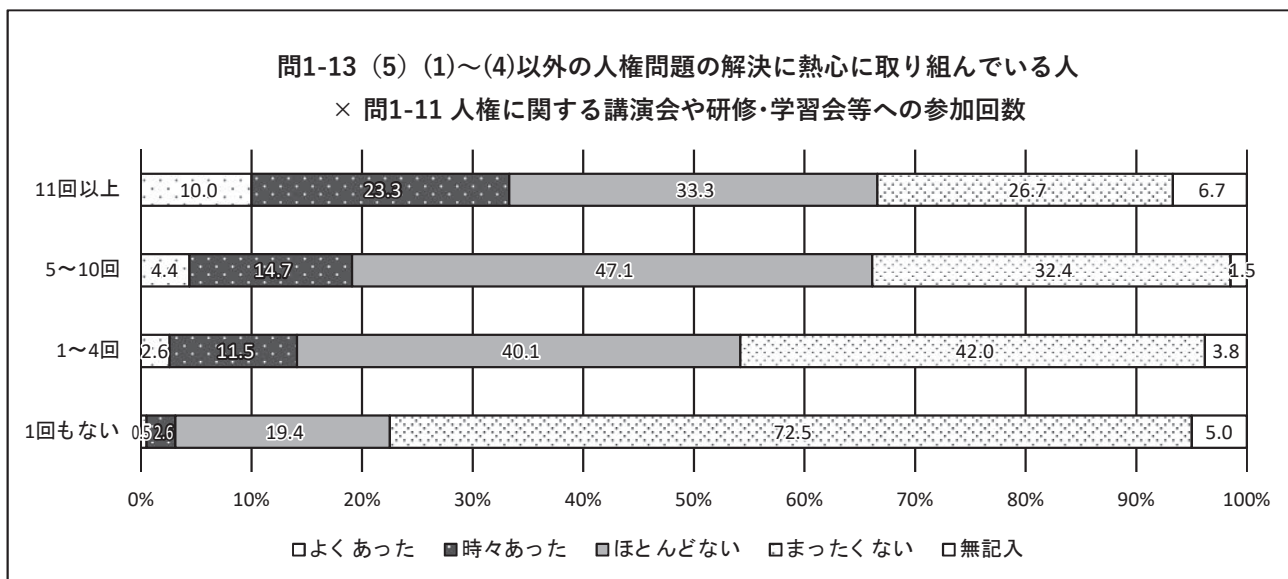
人権に関する映画やビデオ、テレビ番組等を視聴したことがある人では性的少数者(LGBT)の人権問題の解決に熱心に取り組んでいる人との交流が、「時々あった」は8.5%と高く、「まったくない」は56.5%と低くなっています。視聴したことがない人では交流が「時々あった」は2.1%と低く、「まったくない」は77.8%と高くなっています。

(5) (1)～(4)以外の人権問題の解決に熱心に取り組んでいる人

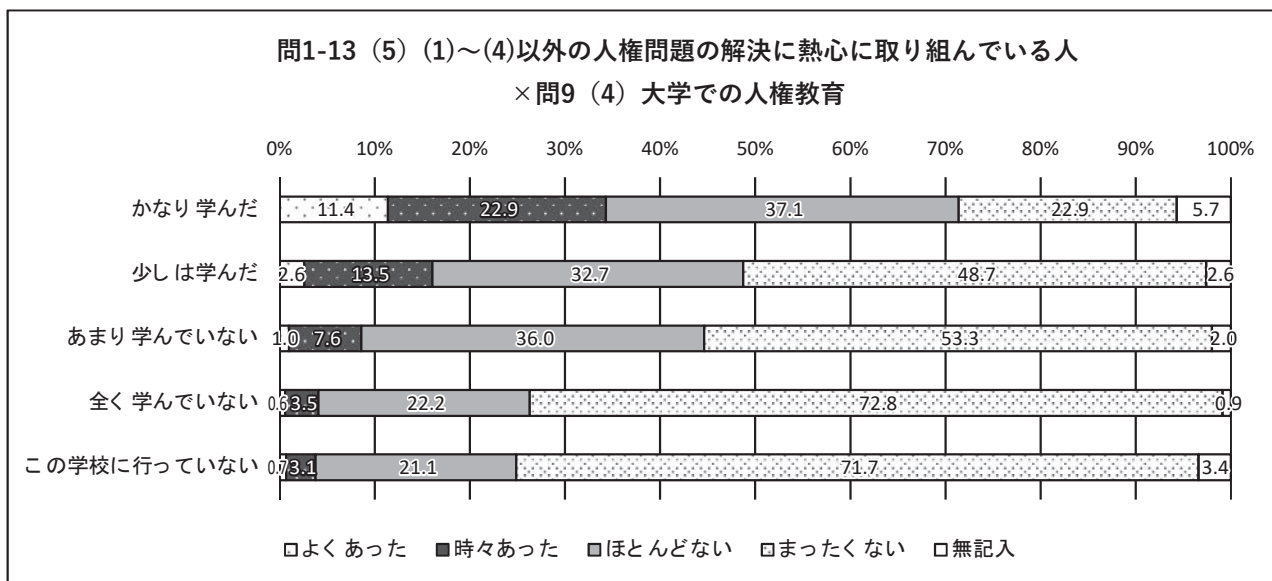
| No. | カテゴリ | 件数 | (全体)% | (除不)% |
|-----|----------|-------|-------|-------|
| 1 | よくあった | 19 | 1.2 | 1.3 |
| 2 | 時々あった | 82 | 5.3 | 5.6 |
| 3 | ほとんどない | 387 | 25.1 | 26.6 |
| 4 | まったくない | 968 | 62.9 | 66.5 |
| | 無記入 | 83 | 5.4 | |
| | N (%ベース) | 1,539 | 100 | 1,456 |

「あなたは、これまでの生活の中で、次の(1)～(5)の方と一緒に生活したり、働いたり、活動したりするなど、何らかの交流がありましたか。」の(5)「(1)～(4)以外の人権問題の解決に熱心に取り組んでいる人」について、「よくあった」19人 1.2%(1.3%)、「時々あった」82人 5.3%(5.6%)、「ほとんどない」387人 25.1%(26.6%)、「まったくない」968人 62.9%(66.5%)、「無記入」83人 5.4%、となっています。()内は無記入を除く%です。「よくあった」「時々あった」合わせて6.5%となっています。

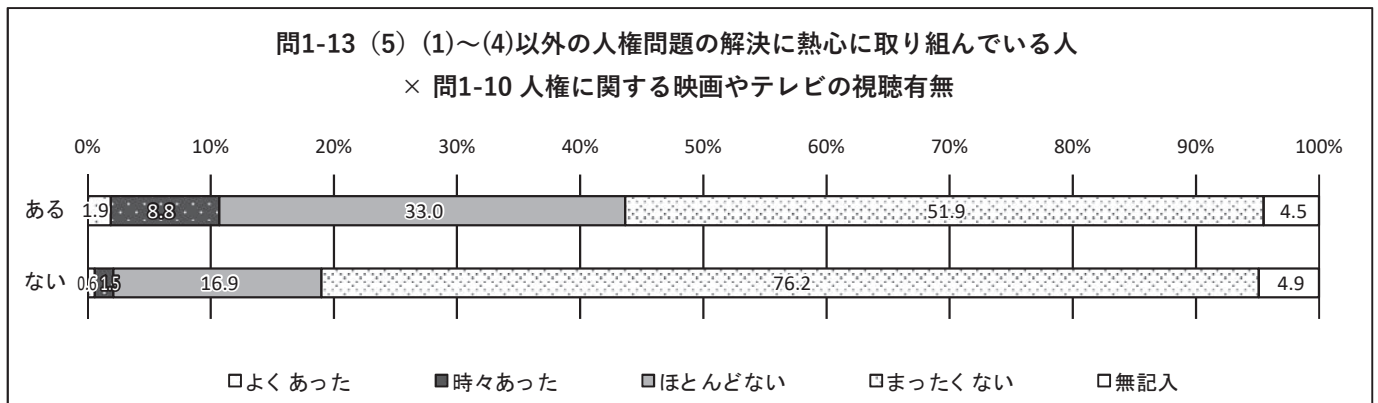
多重相関は0.490と高くなっています。人権に関する研修会・学習会への参加との関連性が大変高くなっています。次に大学(短大・高専)等での人権教育、人権に関する映画・ビデオ・テレビ等の視聴となっています。



人権に関する研修会・学習会に11回以上参加した人では(1)～(4)以外の人権問題の解決に熱心に取り組んでいる人との交流が「よくあった」は10.0%と高く、「まったくない」は26.7%となっています。参加が1回もない人では交流が「よくあった」は0.5%と低く、「まったくない」は72.5%となっています。



大学(短大・高専)等での人権教育でかなり学んだ人は、(1)～(4)以外の人権問題の解決に熱心に取り組んでいる人との交流が「よくあった」11.4%と高く、「まったくない」22.9%となっています。全く学んでいない人では交流が「よくあった」0.6%と低く、「まったくない」72.8%となっています。



人権に関する映画やビデオ、テレビ番組等を視聴したことがある人は、(1)～(4)以外の人権問題の解決に熱心に取り組んでいる人との交流が「よくあった」1.9%と高く、「まったくない」51.9%となっています。視聴したことがない人では交流が「よくあった」0.6%と低く、「まったくない」76.2%となっています。

問 1-14 誰かが差別的な発言をしたとき、あなたはこういった態度をとりますか

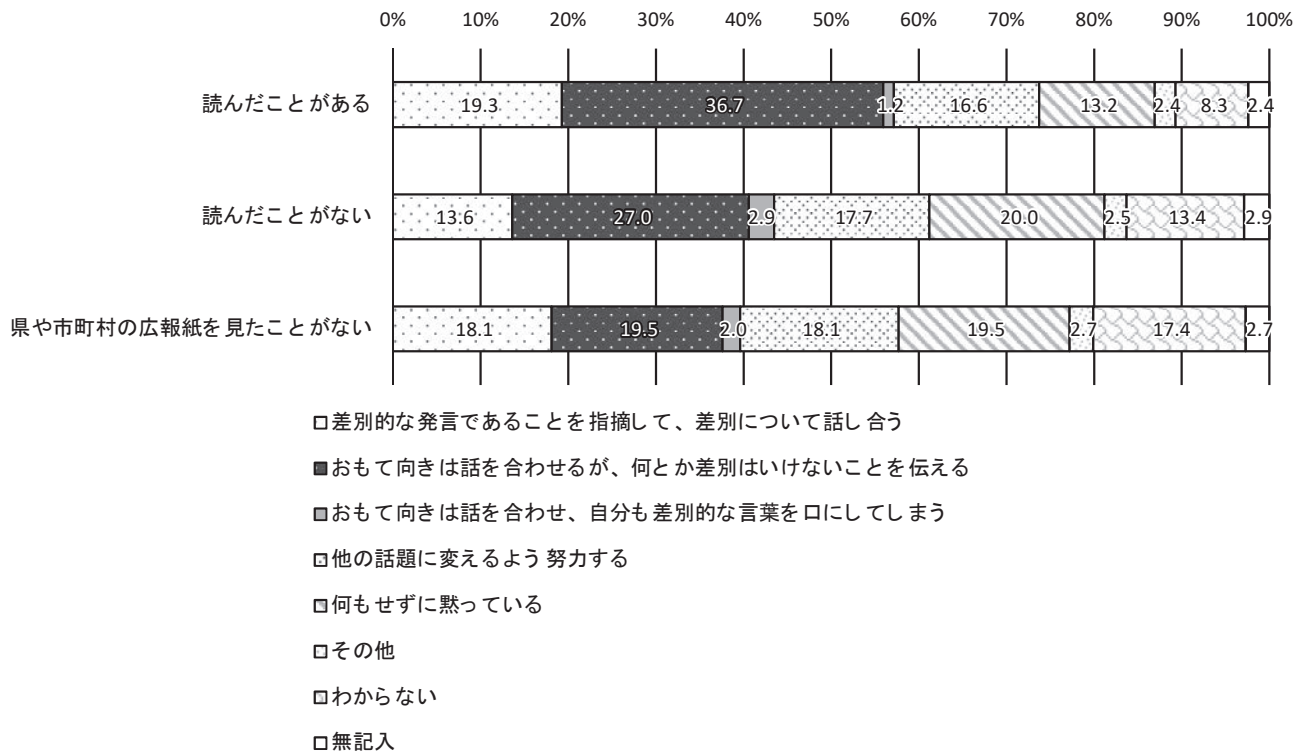
| No. | カテゴリ | 件数 | (全体)% | (除不)% |
|-----|--------------------------------|-----|-------|-------|
| 1 | 差別的な発言であることを指摘して、差別について話し合う | 262 | 17.0 | 17.6 |
| 2 | おもて向きは話を合わせるが、何とか差別はいけないことを伝える | 482 | 31.3 | 32.4 |
| 3 | おもて向きは話を合わせ、自分も差別的な言葉を口にしてしまう | 28 | 1.8 | 1.9 |
| 4 | 他の話題に変えるよう努力する | 261 | 17.0 | 17.5 |
| 5 | 何もせずに黙っている | 248 | 16.1 | 16.7 |
| 6 | その他 | 37 | 2.4 | 2.5 |
| 7 | わからない | 170 | 11.0 | 11.4 |
| | 無記入 | 51 | 3.3 | |
| | N (%ベース) | 539 | 100 | 488 |

「学校や職場、日常生活の中で、誰かが差別的な発言をしたとき、あなたはこういった態度をとりますか。または、とると思いませんか」について、「差別的な発言であることを指摘して、差別について話し合う(と思う)」262人 17.0% (17.6%)、「おもて向きは話を合わせるが、何とか差別はいけないことを伝える(と思う)」482人 31.3% (32.4%)、「おもて向きは話を合わせ、自分も差別的な言葉を口にしてしまう(と思う)」28人 1.8% (1.9%)、「他の話題に変えるよう努力する(と思う)」261人 17.0% (17.5%)、「何もせずに黙っている(と思う)」248人 16.1% (16.7%)、「その他」37人 2.4% (2.5%)、「わからない」170人 11.0% (11.4%)、「無記入」51人 3.3%、となっています。()内は無記入を除く%です。

多重相関は 0.323 で、県や市町村の広報紙の人権関連記事を読んだことがあるかが一番関連を示しています。次に高校での人権教育、人権に関する映画・ビデオ・テレビ等の視聴、人権に関する研修会・学習会への参加が高くなっています。

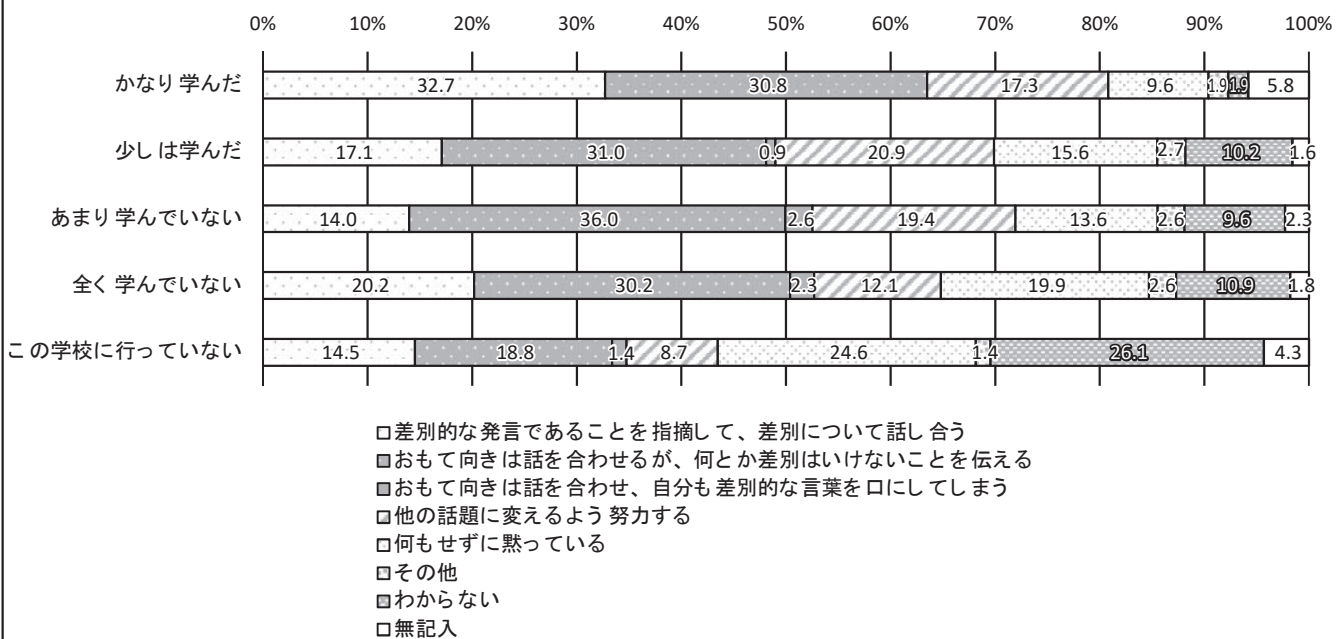
問1-14 差別的な発言に対してあなたがとる態度

× 問1-9 行政広報紙の人権に関する記事を読んだことがあるか

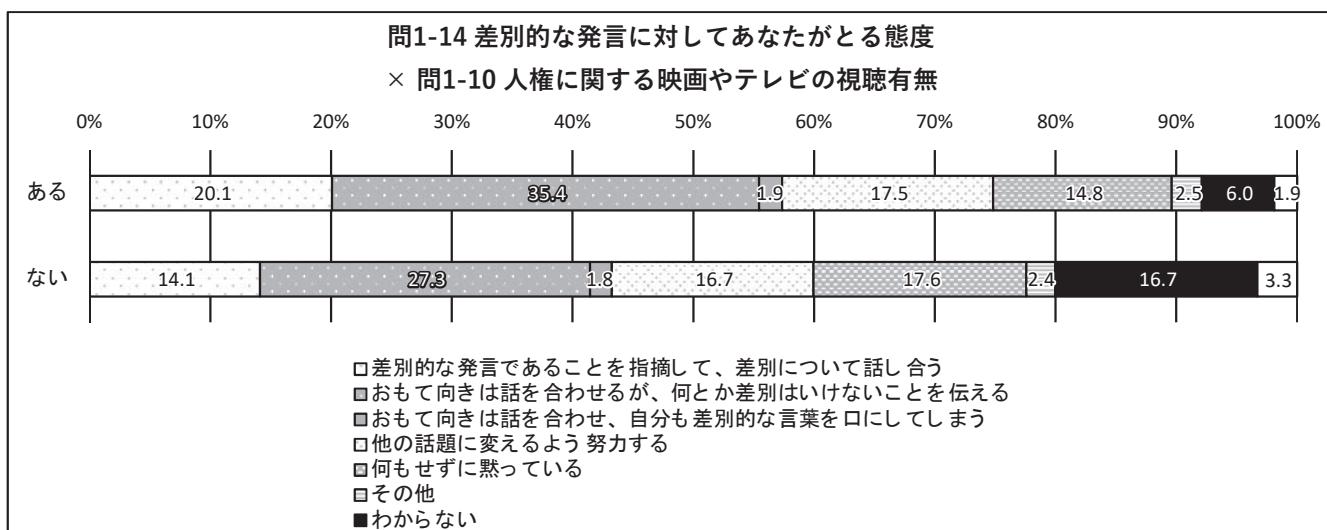


県や市町村の広報紙の人権関連記事を読んだことがある人では、「差別的な発言であることを指摘して差別について話し合う」19.3%、「おもて向きは話を合わせるが、何とか差別はいけないことを伝える」36.7%に対して、読んだことがない人では、「差別的な発言であることを指摘して差別について話し合う」13.6%、「おもて向きは話を合わせるが、何とか差別はいけないことを伝える」27.0%となっています。

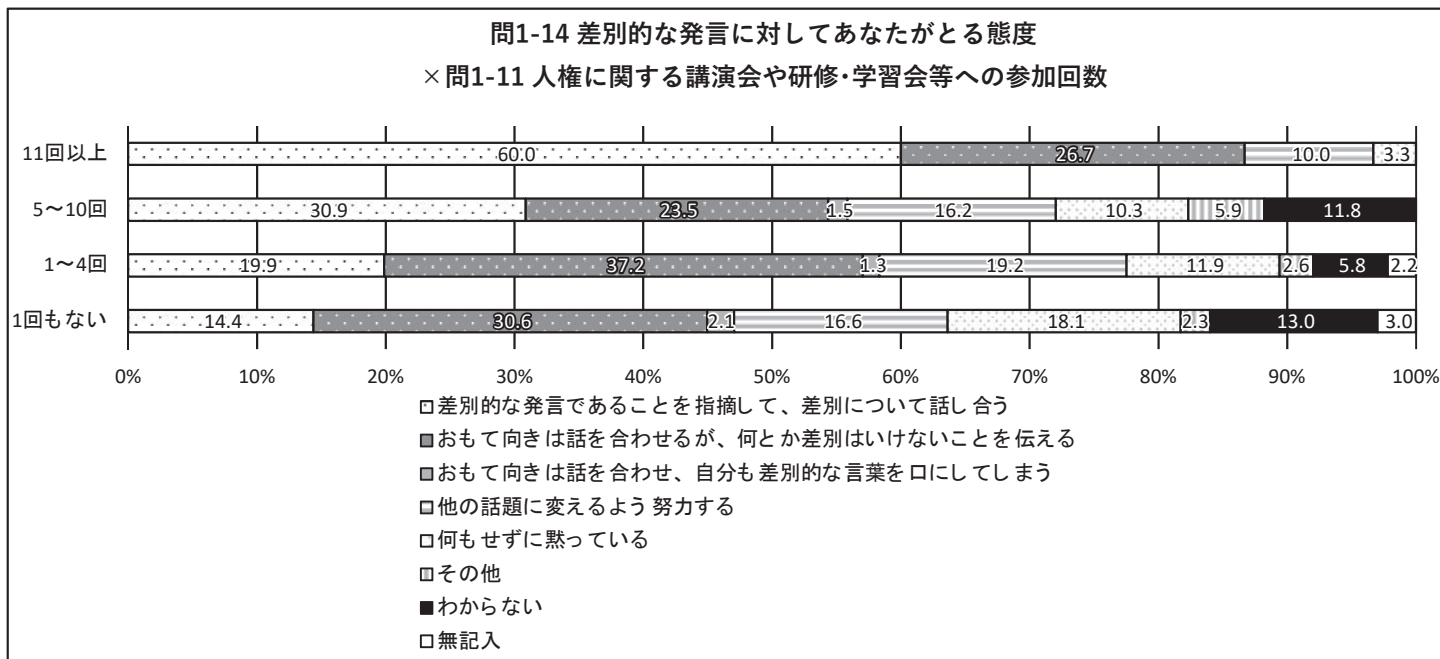
問1-14 差別的な発言に対してあなたがとる態度 × 問9 (3) 高校での人権教育



高校等で人権教育をかなり学んだ人では、「差別的な発言であることを指摘して差別について話し合う」32.7%、「何もせずに黙っている」9.6%となっています。全く学んでいない人では、「差別的な発言であることを指摘して差別について話し合う」20.2%、「何もせずに黙っている」19.9%となっています。



人権に関する映画やビデオ、テレビ番組を見たり、ラジオ放送を聴いたりしたことがある人では、「差別的な発言であることを指摘して差別について話し合う」20.1%、「おもて向きは話を合わせるが、何とか差別はいけないことを伝える」35.4%に対して、ない人では、「差別的な発言であることを指摘して差別について話し合う」14.1%、「おもて向きは話を合わせるが、何とか差別はいけないことを伝える」27.3%となっています。



人権に関する講演会や研修・学習会等に11回以上参加した人では、「差別的な発言であることを指摘して差別について話し合う」60.0%、1回も参加したことがない人では14.4%となっています。

4. 女性の人権

問 2-1 男女平等が実現していると思いますか

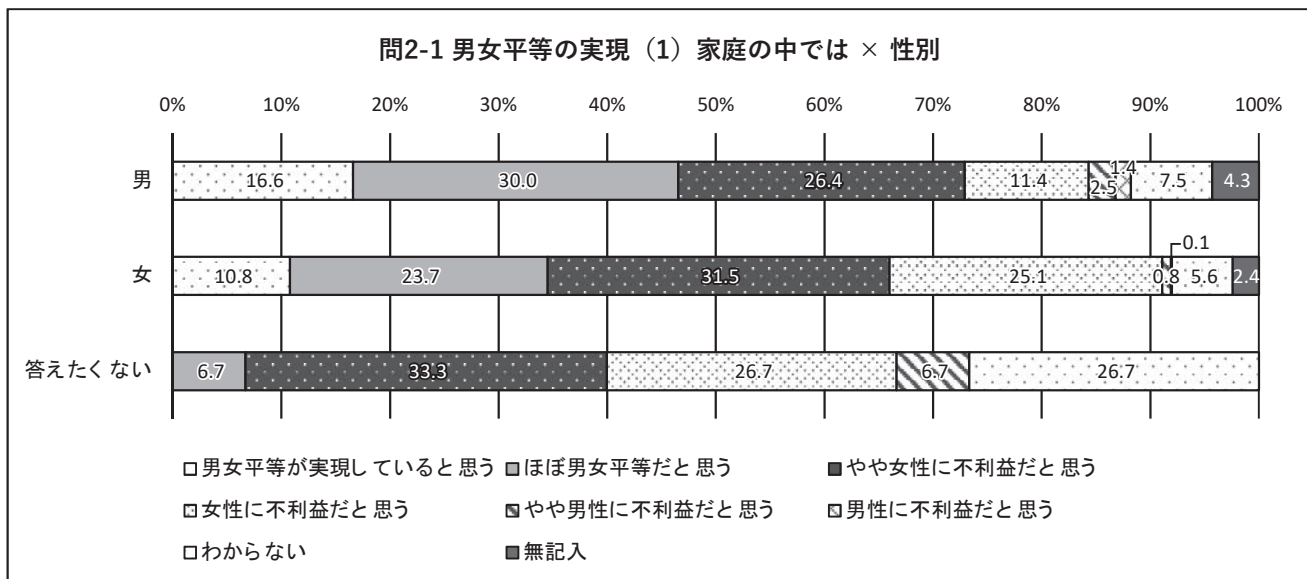
(1) 家庭の中では

| No. | カテゴリ | 件数 | (全体)% | (除不)% | 前回調査 |
|-----|----------------|-------|-------|-------|-------|
| 1 | 男女平等が実現していると思う | 203 | 13.2 | 13.6 | 16.0 |
| 2 | ほぼ男女平等だと思う | 404 | 26.3 | 27.2 | 31.1 |
| 3 | やや女性に不利益だと思う | 448 | 29.1 | 30.1 | 24.0 |
| 4 | 女性に不利益だと思う | 297 | 19.3 | 20.0 | 14.9 |
| 5 | やや男性に不利益だと思う | 24 | 1.6 | 1.6 | 1.5 |
| 6 | 男性に不利益だと思う | 10 | 0.6 | 0.7 | 0.9 |
| 7 | わからない | 102 | 6.6 | 6.9 | 5.0 |
| | 無記入 | 51 | 3.3 | | 6.6 |
| | N (%ベース) | 1,539 | 100 | 1,488 | 1,996 |

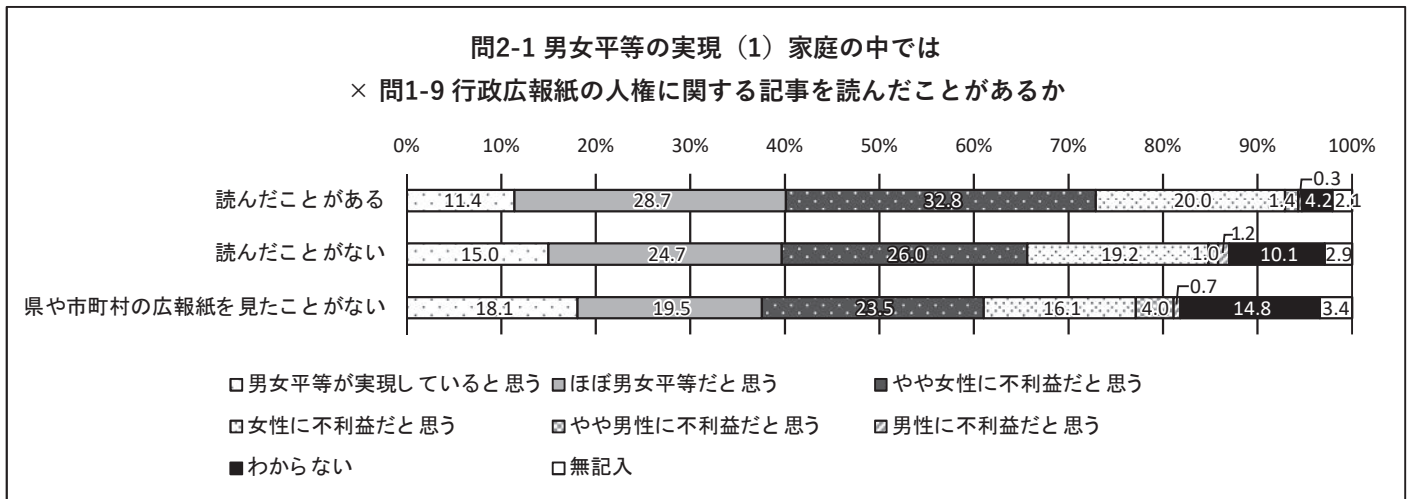
「あなたは、男女平等が実現していると思いますか。」の(1)「家庭の中では」について、「男女平等が実現していると思う」203人 13.2%(13.6%)、「ほぼ男女平等だと思う」404人 26.3%(27.2%)、「やや女性に不利益だと思う」448人 29.1%(30.1%)、「女性に不利益だと思う」297人 19.3%(20.0%)、「やや男性に不利益だと思う」24人 1.6%(1.6%)、「男性に不利益だと思う」10人 0.6%(0.7%)、「わからない」102人 6.6%(6.9%)、「無記入」51人 3.3%、となっています。()内は無記入を除く%です。

前回調査と比べ、「やや女性に不利益だと思う」が 5.1%、「女性に不利益だと思う」が 4.4%高くなり、「ほぼ男女平等だと思う」が 4.8%、「男女平等が実現していると思う」が 2.8%低くなっています。

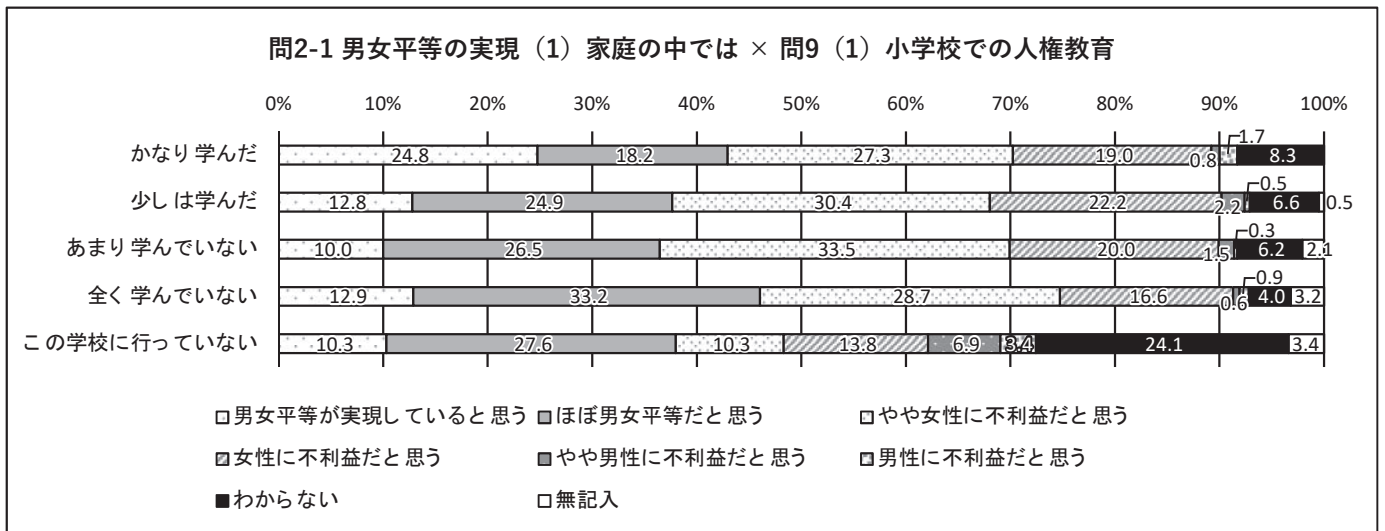
多重相関は 0.336 で、性別が一番関連を示しています。次に、県や市町村の広報紙の人権関連記事を読んだことがあるか、小学校での人権教育、中学校での人権教育、年齢との関連性が高くなっています。



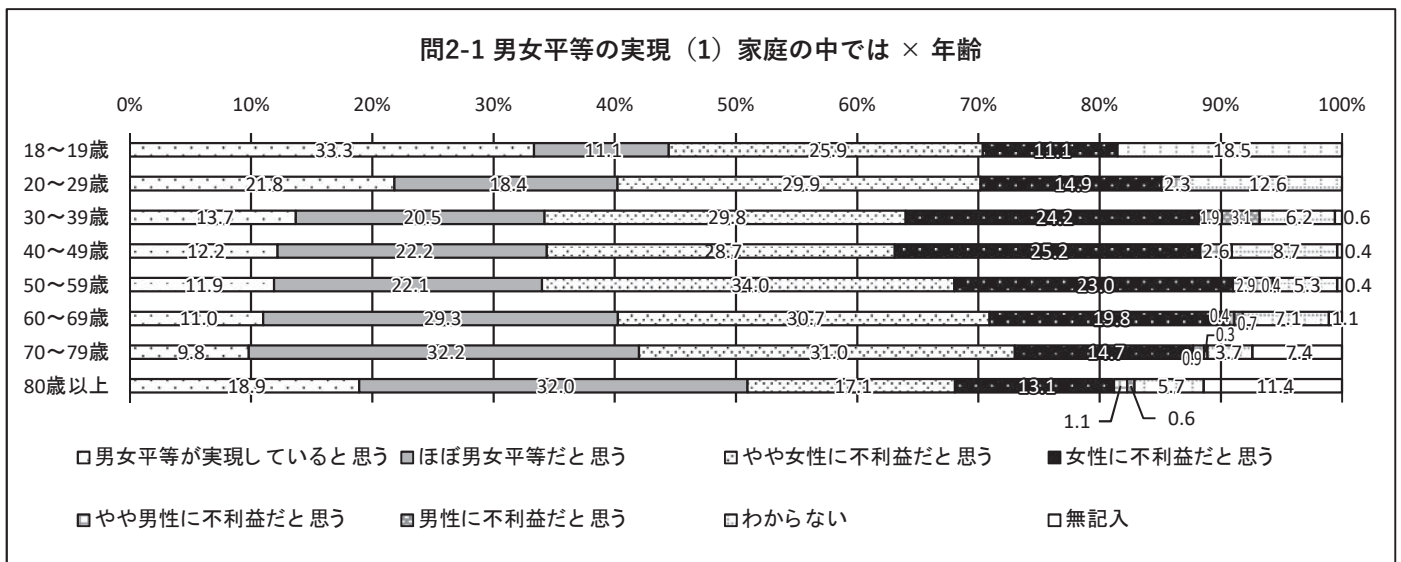
「男女平等が実現していると思う」が男性で 16.6%・女性で 10.8%、「女性に不利益だと思う」が男性で 11.4%・女性で 25.1%となっています。



「男女平等が実現していると思う」が、広報紙の人権関連記事を読んだことがある人で 11.4%・読んだことがない人で 15.0%、広報紙を見たことのない人で 18.1%、「やや女性に不利益だと思う」が読んだことがある人で 32.8%、読んだことがない人で 26.0%、広報紙を見たことのない人で 23.5%、「わからない」が読んだことがある人で 3.2%、読んだことがない人で 10.1%、広報紙を見たことのない人で 14.8%となっています。



「男女平等が実現していると思う」が、小学校で人権教育をかなり学んだ人では 24.8%、少しは学んだ人では 12.8%、あまり学んでいない人では 10.0%、全く学んでいない人では 12.9%となっています。「ほぼ男女平等だと思う」が、小学校で人権教育をかなり学んだ人では 18.2%、少しは学んだ人では 24.9%、あまり学んでいない人では 26.5%、全く学んでいない人では 33.2%となっています。



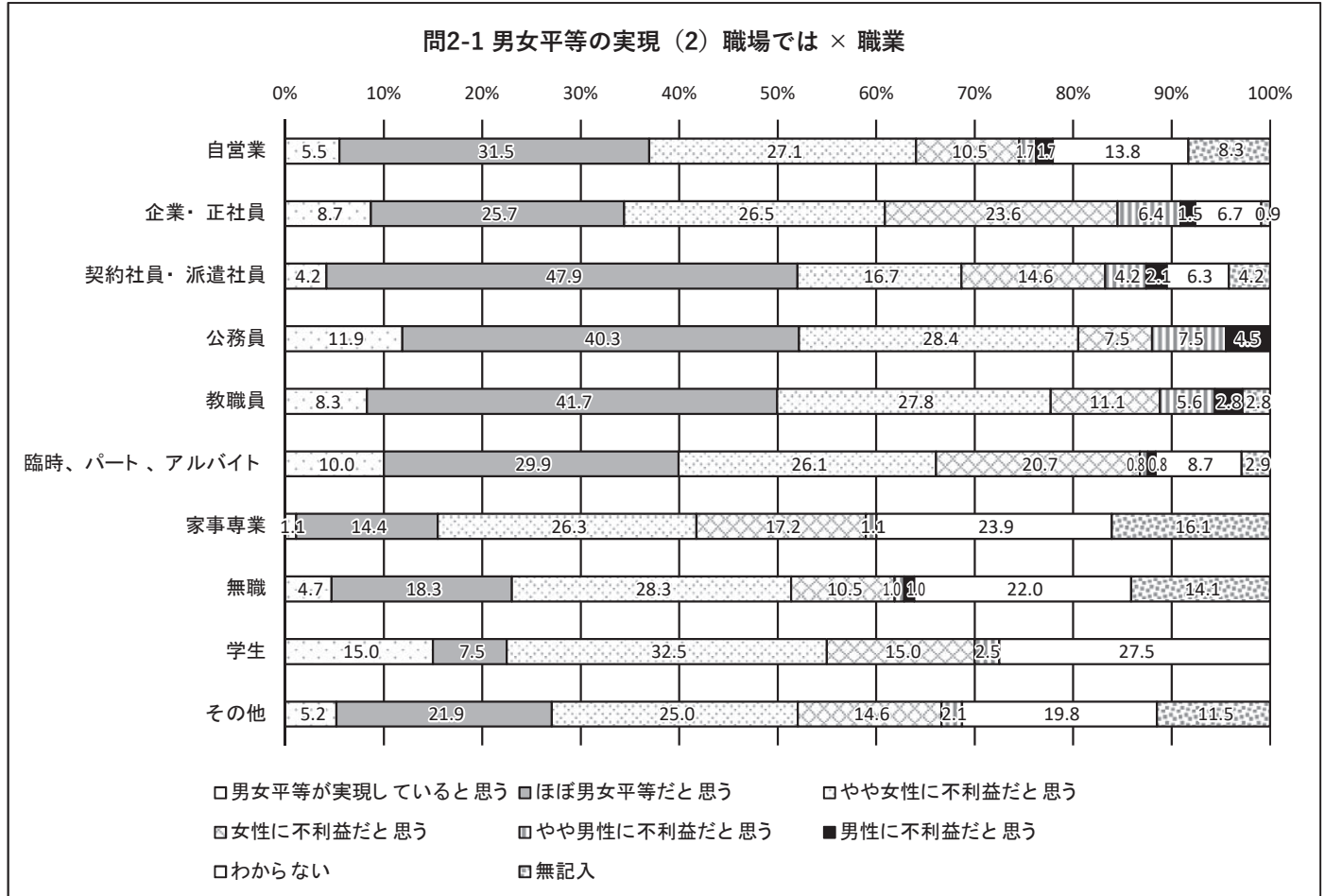
「男女平等が実現していると思う」は、18～19歳では33.3%、20歳代21.8%、30歳代13.7%と減少していきませんが、80歳以上では18.9%と高くなっています。「ほぼ男女平等だと思う」は18～19歳11.1%から70歳代32.2%まで年齢とともに増加しています。「女性に不利益だと思う」は、30歳代で24.2%、40歳代で25.2%、50歳代で23.0%と高くなっています。

(2) 職場では

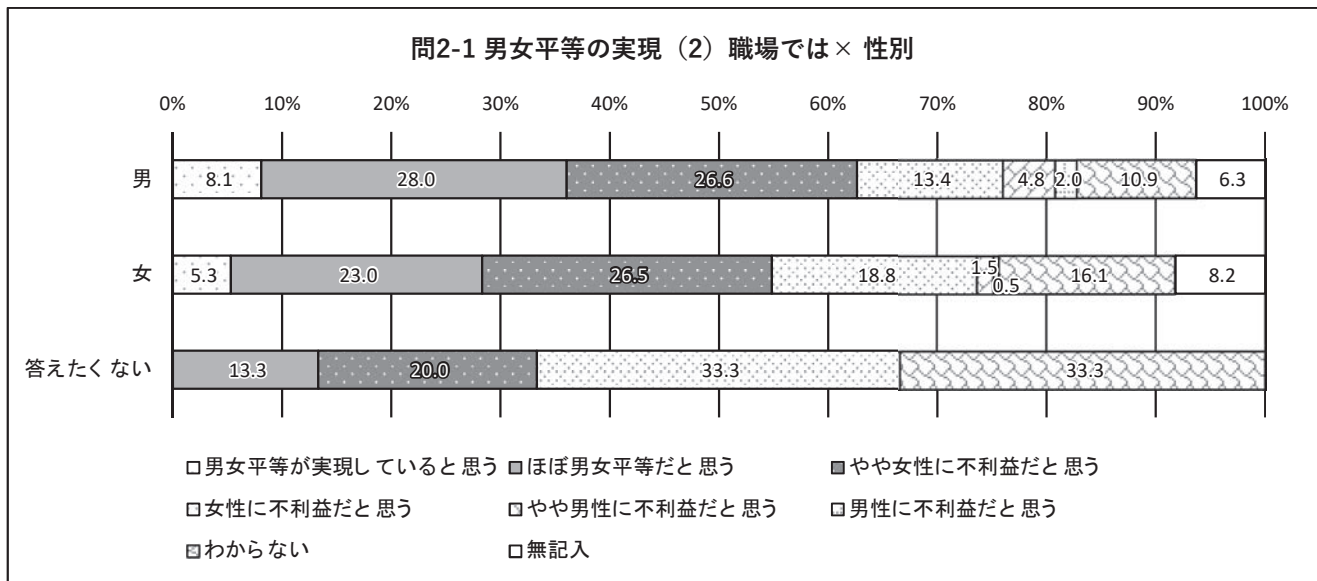
| No. | カテゴリ | 件数 | (全体)% | (除不)% | 前回調査 |
|-----|----------------|-------|-------|-------|-------|
| 1 | 男女平等が実現していると思う | 100 | 6.5 | 7.0 | 7.1 |
| 2 | ほぼ男女平等だと思う | 384 | 25.0 | 27.0 | 22.5 |
| 3 | やや女性に不利益だと思う | 407 | 26.4 | 28.6 | 27.4 |
| 4 | 女性に不利益だと思う | 256 | 16.6 | 18.0 | 15.5 |
| 5 | やや男性に不利益だと思う | 44 | 2.9 | 3.1 | 2.1 |
| 6 | 男性に不利益だと思う | 17 | 1.1 | 1.2 | 0.9 |
| 7 | わからない | 216 | 14.0 | 15.2 | 10.1 |
| | 無記入 | 115 | 7.5 | | 14.3 |
| | N(%ベース) | 1,539 | 100 | 1,424 | 1,996 |

「あなたは、男女平等が実現していると思いますか。」の(2)「職場では」について、「男女平等が実現していると思う」100人6.5%(7.0%)、「ほぼ男女平等だと思う」384人25.0%(27.0%)、「やや女性に不利益だと思う」407人26.4%(28.6%)、「女性に不利益だと思う」256人16.6%(18.0%)、「やや男性に不利益だと思う」44人2.9%(3.1%)、「男性に不利益だと思う」17人1.1%(1.2%)、「わからない」216人14.0%(15.2%)、「無記入」115人7.5%、となっています。()内は無記入を除く%です。

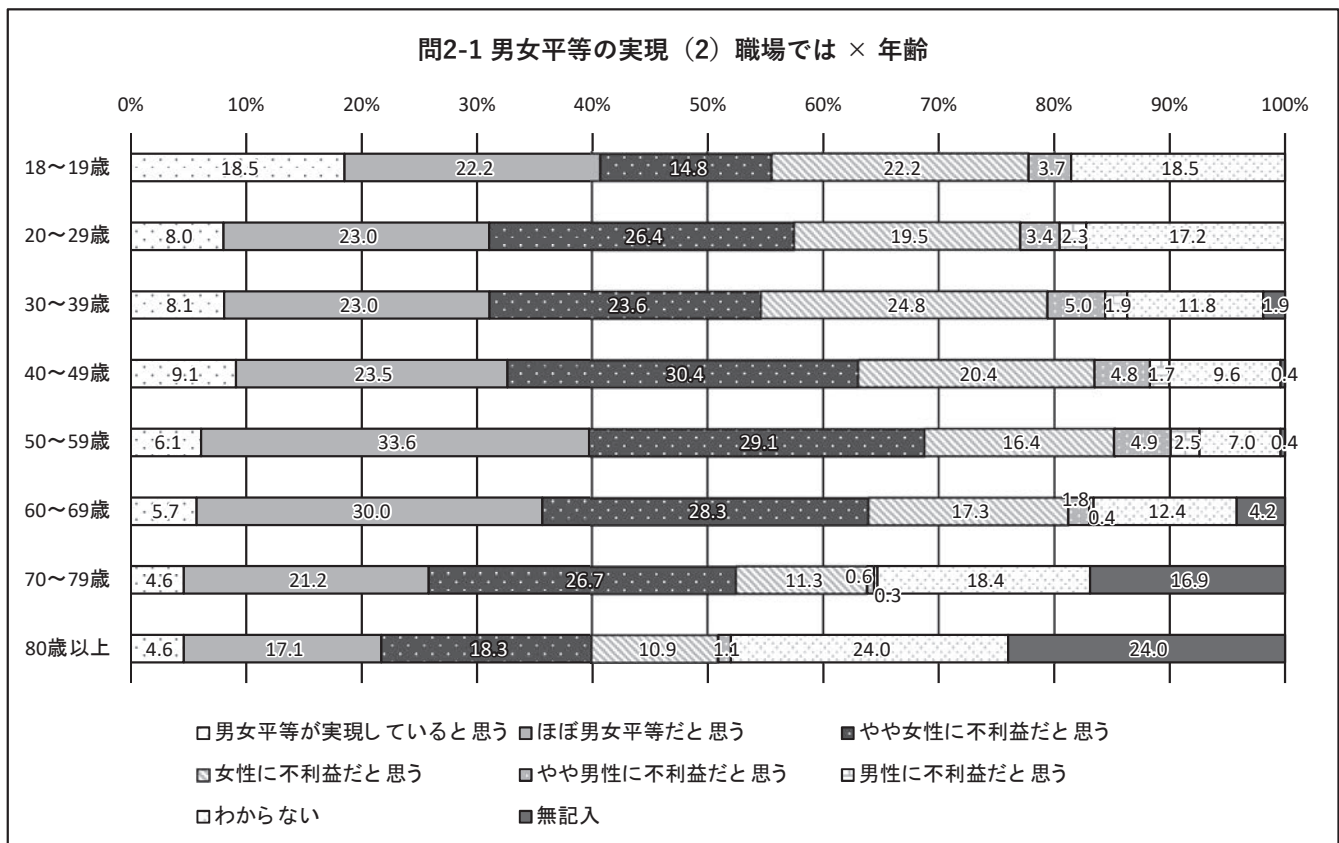
前回調査と比べ、「ほぼ男女平等だと思う」が2.5%、「わからない」が3.9%高くなっています。多重相関は0.369で、職業の関連性が最も高く、次いで性別、年齢の順となっています。



「ほぼ男女平等だと思う」が企業の契約派遣社員で 47.9%、公務員で 40.3%、教職員で 41.7%と高くなっています。「女性に不利益だと思う」は、企業の正社員で 23.6%、臨時・パート・アルバイトで 20.7%と高くなっています。学生で「男女平等が実現していると思う」が 15.0%と高くなっています。



「男女平等が実現していると思う」は、男性 8.1%・女性 5.3%、「ほぼ男女平等だと思う」が男性 28.0%・女性 23.0%、「女性に不利益だと思う」が男性 13.4%・女性 18.8%となっています。



「男女平等が実現していると思う」は、18~19歳が 18.5%・20歳代が 8.0%・30歳代が 8.1%と高く、「女性に不利益だと思う」は 18~19歳が 22.2%・20歳代が 19.5%・30歳代が 24.8%・40歳代が 20.4%と高くなっています。

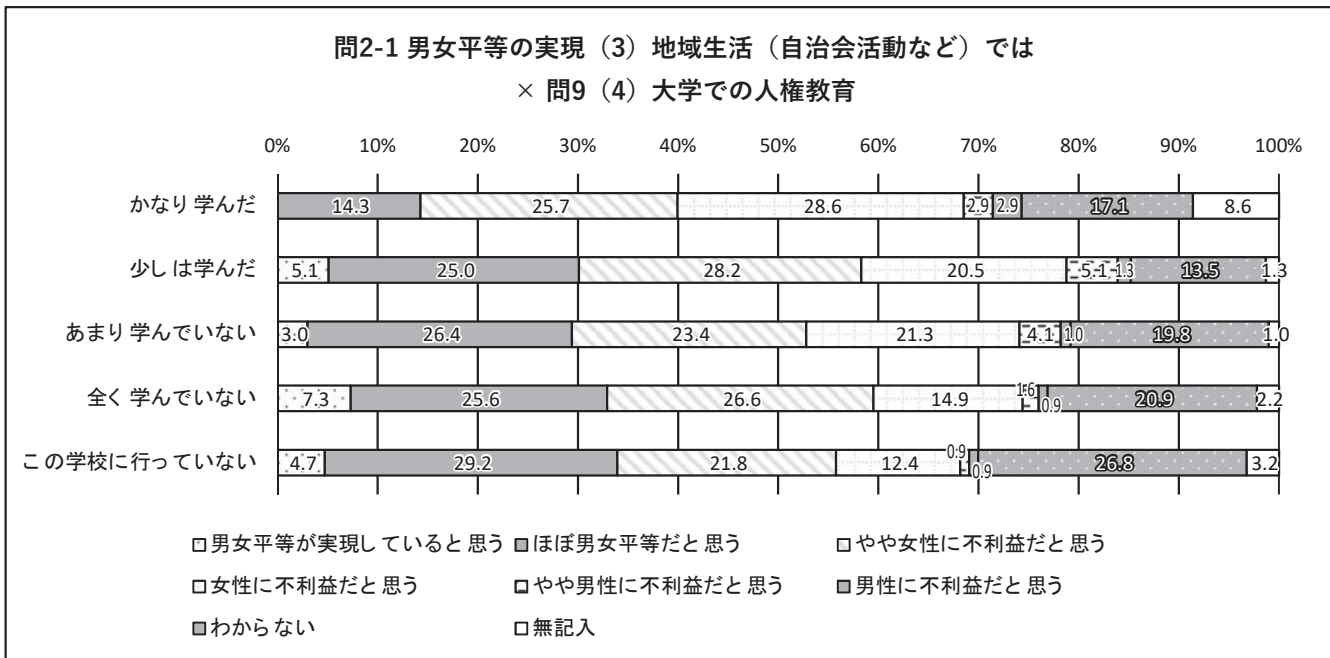
(3) 地域生活(自治会活動など)では

| No. | カテゴリ | 件数 | (全体)% | (除不)% | 前回調査 |
|-----|----------------|-------|-------|-------|-------|
| 1 | 男女平等が実現していると思う | 81 | 5.3 | 5.5 | 7.5 |
| 2 | ほぼ男女平等だと思う | 431 | 28.0 | 29.4 | 31.6 |
| 3 | やや女性に不利益だと思う | 353 | 22.9 | 24.1 | 23.6 |
| 4 | 女性に不利益だと思う | 232 | 15.1 | 15.8 | 10.3 |
| 5 | やや男性に不利益だと思う | 29 | 1.9 | 2.0 | 2.3 |
| 6 | 男性に不利益だと思う | 14 | 0.9 | 1.0 | 0.9 |
| 7 | わからない | 324 | 21.1 | 22.1 | 14.8 |
| | 無記入 | 75 | 4.9 | | 9.0 |
| | N (%ベース) | 1,539 | 100 | 1,464 | 1,996 |

「あなたは、男女平等が実現していると思いますか。」の(3)「地域生活(自治会活動など)では」について、「男女平等が実現していると思う」81人 5.3%(5.5%)、「ほぼ男女平等だと思う」431人 28.0%(29.4%)、「やや女性に不利益だと思う」353人 22.9%(24.1%)、「女性に不利益だと思う」232人 15.1%(15.8%)、「やや男性に不利益だと思う」29人 1.9%(2.0%)、「男性に不利益だと思う」14人 0.9%(1.0%)、「わからない」324人 21.1%(22.1%)、「無記入」75人 4.9%、となっています。()内は無記入を除く%です。

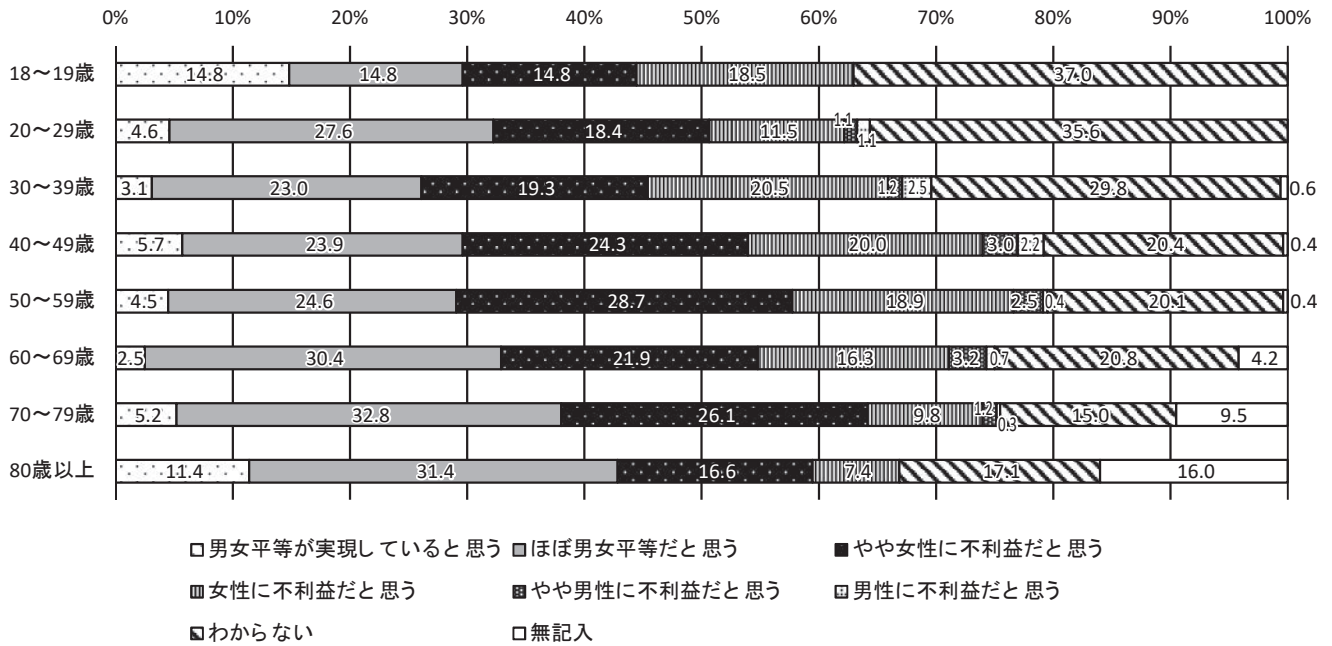
前回調査と比べ、「ほぼ男女平等だと思う」が3.6%・「男女平等が実現していると思う」が2.2%低くなっています。「女性に不利益だと思う」が4.8%・「わからない」が6.3%高くなっています。

地域生活での男女平等について10の説明変数との多重相関は0.318となっています。大学(短大・高専)での人権教育が大きな関連を持っています。次いで、年齢、人権に関する講演会や研修会等への参加、性別が関連しています。人権に関する映画やビデオ、テレビ、ラジオの視聴、中学での人権教育とは有意な関連はないようです。



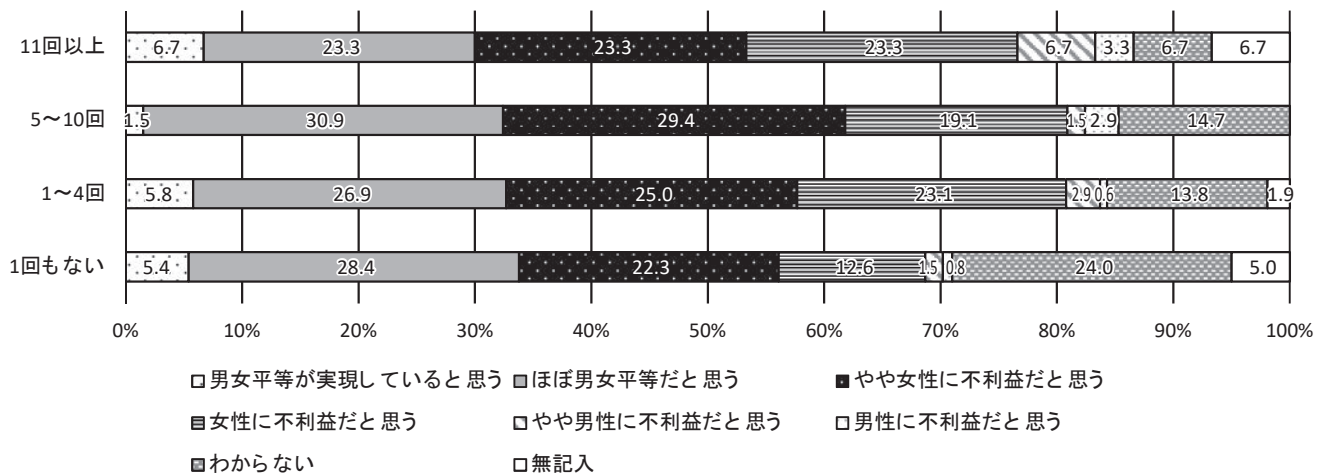
地域生活での男女平等について、「ほぼ男女平等だと思う」は大学(短大・高専)で人権教育をかなり学んだ人では14.3%、少し学んだ25.0%、あまり学んでいないで26.4%、全く学んでいない25.6%、この学校に行っていない人で29.2%となっています。「女性に不利益だと思う」は、かなり学んだ人では28.6%、少し学んだ20.5%、あまり学んでいないで21.3%、全く学んでいない14.9%、この学校に行っていない人で12.4%となっています。

問2-1 男女平等の実現（3）地域生活（自治会活動など）では × 年齢



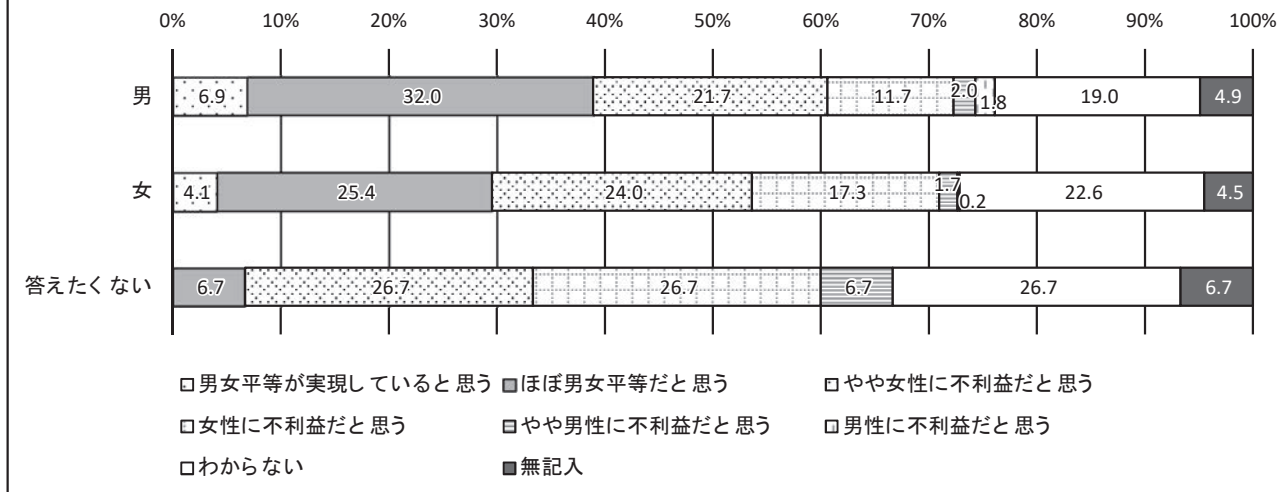
「男女平等が実現していると思う」は18～19歳で14.8%、80歳以上で11.4%と高くなっています。「女性に不利益だと思う」は30歳代で20.5%、40歳代で20.0%、50歳代で18.9%と高くなっています。「わからない」が18～19歳で37.0%、20歳代で35.6%、30歳代で29.8%と高くなっています。

問2-1 男女平等の実現（3）地域生活（自治会活動など）では
× 問1-11 人権に関する講演会や研修・学習会等への参加回数



「女性に不利益だと思う」が、人権に関する講演会や研修会等へ11回以上参加した人では23.3%、5～10回では19.1%、1～4回では23.1%、1回も参加したことがない人では24.0%と高くなっています。

問2-1 男女平等の実現 (3) 地域生活 (自治会活動など) では × 性別



「男女平等が実現していると思う」が、男性では 6.9%・女性 4.1%、「ほぼ男女平等だと思う」が男性 32.0%・女性 25.4%、「女性に不利益だと思う」が男性 11.7%・女性 17.3%となっています。

問 2-2 女性に関することで、現在、どのような人権問題があると思いますか

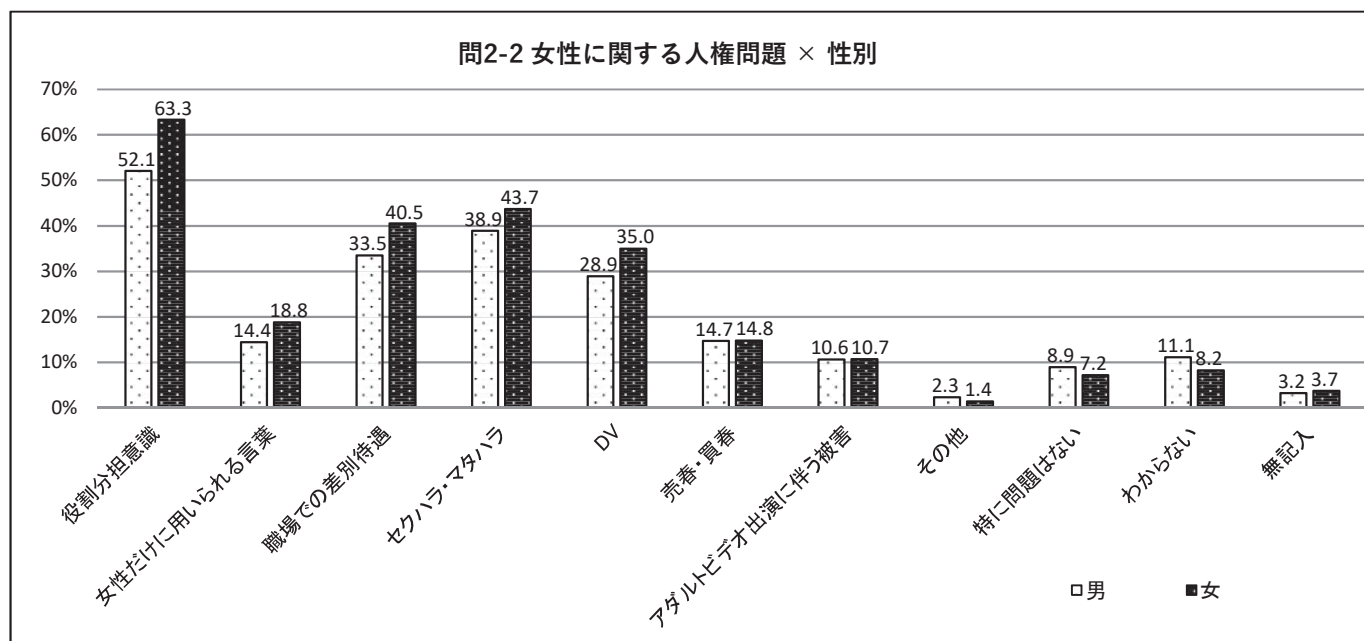
| No. | カテゴリ | 件数 | (全体)% | (除不)% | 前回調査 | 全国調査 |
|-----|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1 | 役割分担意識 | 901 | 58.5 | 60.7 | 44.6 | 47.0 |
| 4 | セクハラ・マタハラ | 639 | 41.5 | 43.0 | 34.1 | 42.0 |
| 3 | 職場での差別的待遇 | 577 | 37.5 | 38.9 | 50.7 | 39.0 |
| 5 | DV | 497 | 32.3 | 33.5 | 29.5 | 31.6 |
| 2 | 女性だけに用いられる言葉 | 266 | 17.3 | 17.9 | 8.2 | 10.9 |
| 6 | 売春・買春 | 227 | 14.7 | 15.3 | 22.3 | 13.3 |
| 7 | アダルトビデオ出演に伴う被害 | 164 | 10.7 | 11.0 | | 8.1 |
| 10 | わからない | 146 | 9.5 | 9.8 | 8.0 | |
| 9 | 特に問題はない | 123 | 8.0 | 8.3 | 10.9 | 18.0 |
| 8 | その他 | 27 | 1.8 | 1.8 | 0.8 | 1.7 |
| | 無記入 | 54 | 3.5 | | 5.8 | 1.8 |
| | N (%ベース) | 1,539 | 100 | 1,485 | 1,996 | 1,556 |

「あなたは、女性に関することで、現在、どのような人権問題があると思いますか(複数回答可)」について、1位「1. 家事は女性など男女の固定的な役割分担意識に基づく差別的取扱いを受けること」901人 58.5%(60.7%)、2位「4. セクシュアルハラスメント、マタニティハラスメント」639人 41.5%(43.0%)、3位「3. 女性が管理職になりにくいなど職場において差別待遇を受けること」577人 37.5%(38.9%)、4位「5. 配偶者やパートナーからの暴力などのドメスティック・バイオレンス」497人 32.3%(33.5%)、5位「2. 婦人、未亡人、家内のように女性だけに用いられる言葉が使われること」266人 17.3%(17.9%)、6位「6. 売春・買春」227人 14.7%(15.3%)、7位「7. アダルトビデオなどに出演したことで被害を受けること」164人 10.7%(11.0%)、8位「10. わからない」146人 9.5%(9.8%)、9位「9. 特に問題はない」123人 8.0%(8.3%)、10位「8. その他」27人 1.8%(1.8%)、「無記入」54人 3.5%、となっています。()内は無記入を除く%です。

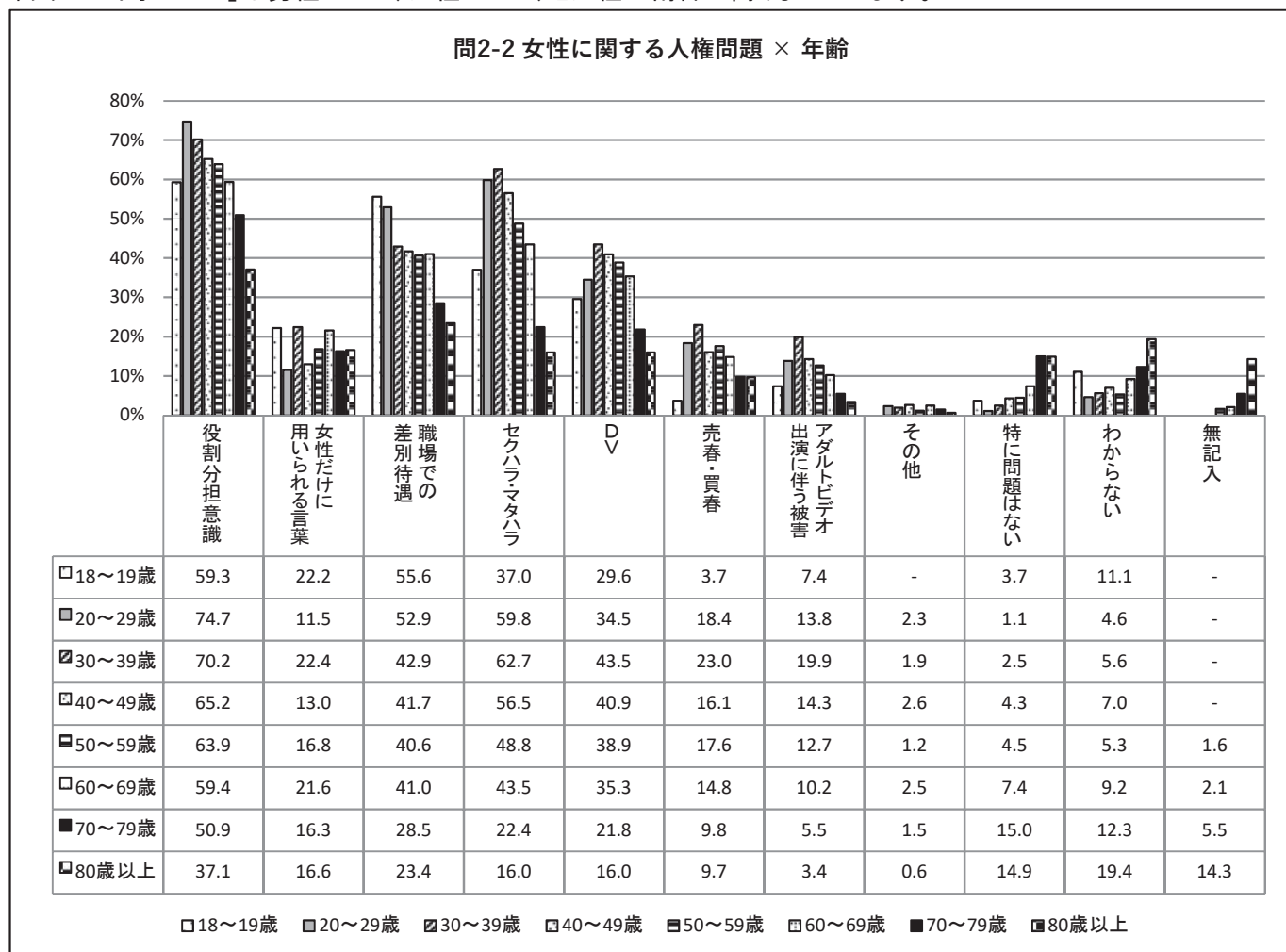
前回調査と比べ、「家事は女性など男女の固定的な役割分担意識に基づく差別的取扱いを受けること」が 13.9%・「婦人、未亡人、家内のように女性だけに用いられる言葉が使われること」が 9.1%・「セクシュアルハラスメント、マタニティハラスメント」が 7.4%高くなっています。「女性が管理職になりにくいなど職場において差別待遇を受けること」が 13.2%・「売春・買春」が 7.6%低くなっています。

全国調査と比べ、「家事は女性など男女の固定的な役割分担意識に基づく差別的取扱いを受けること」が 11.5%・「婦人、未亡人、家内のように女性だけに用いられる言葉が使われること」が 6.4%高くなっています。「特に問題はない」が 10.0%低くなっています。

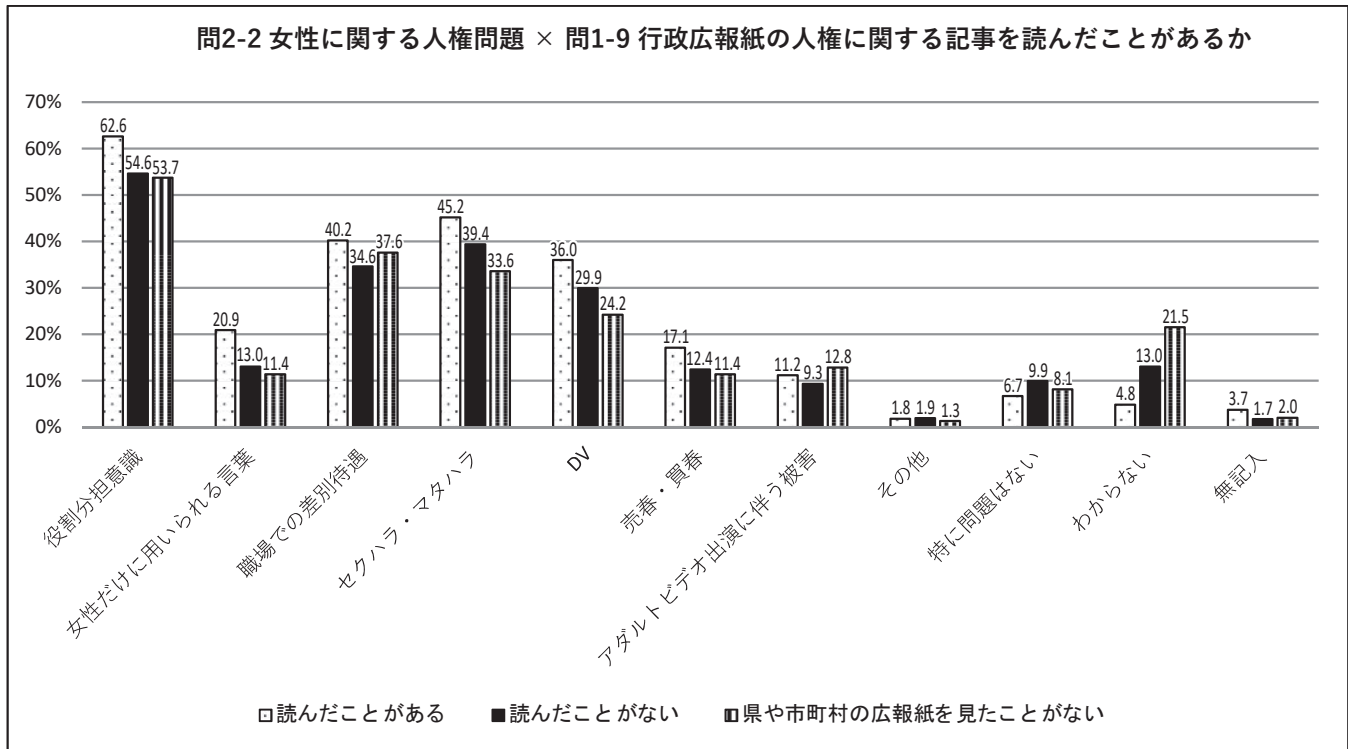
「あなたは、女性に関することで、現在、どのような人権問題があると思いますか」について、選択肢ごとに名義尺度回帰分析を行いました。性別、年齢、広報紙の人権に関する記事を読んだことがあるか、人権に関する映画・ビデオ・テレビ等の視聴、中学校での人権教育などと関連があるようです。



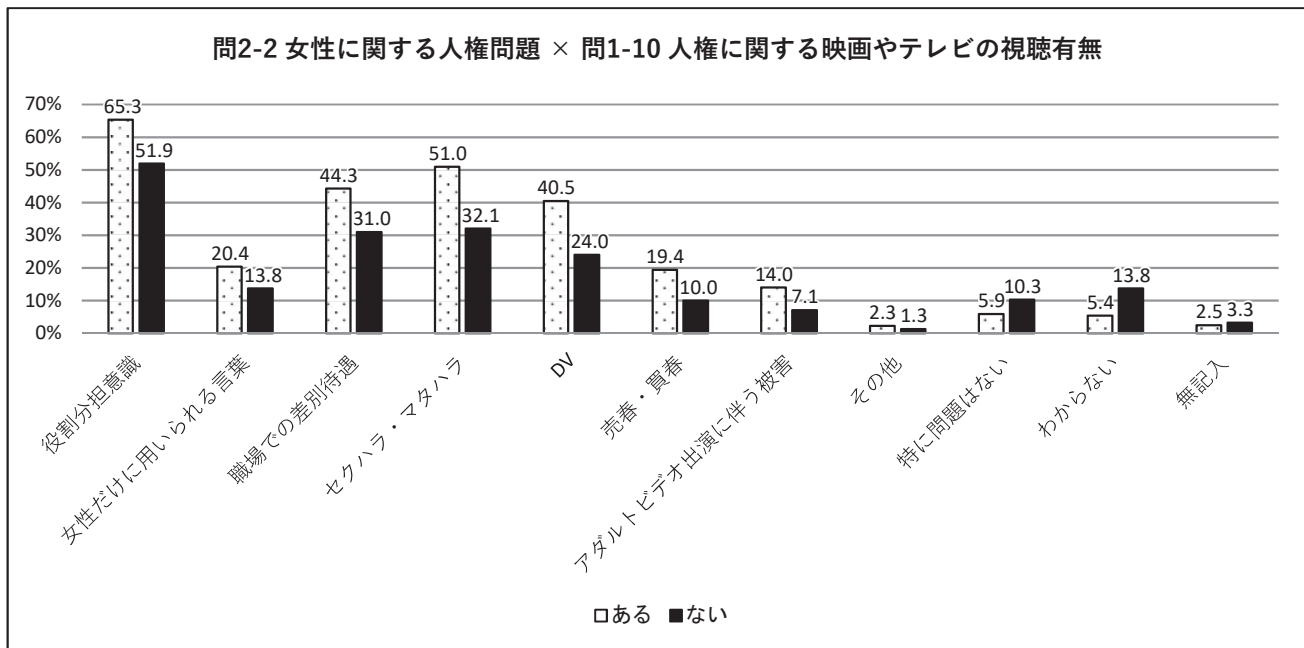
「家事は女性などの固定的な役割分担意識」は男性 52.1%、女性 63.3%、「婦人などの女性だけに用いられる言葉」は男性 14.4%、女性 18.8%、「女性が管理職になりにくいなど職場での差別待遇」は男性 33.5%、女性 40.5%、「セクシュアルハラスメント、マタニティハラスメント」は男性 38.9%、女性 43.7%、「配偶者やパートナーからの暴力などのドメスティック・バイオレンス」は男性 28.9%、女性 35.0%、と女性の割合が高くなっています。



「家事は女性などの固定的な役割分担意識」20歳代 74.7%、「セクシュアルハラスメント、マタニティハラスメント」30歳代 62.7%、「アダルトビデオなどに出演したことで被害を受けること」30歳代 19.9%、「配偶者やパートナーからの暴力などのドメスティック・バイオレンス」30歳代 43.5%、「売春・買春」30歳代 23.0%など、20歳代・30歳代など若い人で割合が高くなっています。



県や市町村の広報紙を読んだことがあるかについて、「婦人、未亡人など女性だけに用いられる言葉」は広報紙を読んだことがある人で 20.9%と高く、読んだことがない人で 11.4%と低くなっています。「わからない」は広報紙を読んだことがある人で 4.8%と低く、読んだことがない人で 21.5%と高くなっています。広報紙を読んだことがある人で、「固定的な役割分担意識」62.6%、「セクシュアルハラスメント、マタニティハラスメント」45.2%、「アダルトビデオなどに出演したことで被害を受けること」11.2%、「配偶者やパートナーからの暴力などのドメスティック・バイオレンス」36.0%など、読んだことがある人で割合が高くなっています。



「女性が管理職になりにくいなど職場において差別待遇を受けること」について、人権に関する映画やビデオ、テレビ番組、ラジオ放送を視聴したことがある人では 44.3%・視聴したことがない人で 31.0%、「売春・買春」について視聴したことがある人では 19.4%・視聴したことがない人で 10.0%、「配偶者やパートナーからの暴力などのドメスティック・バイオ